

人文科学・社会科学系における 大学院教育の関連データ集

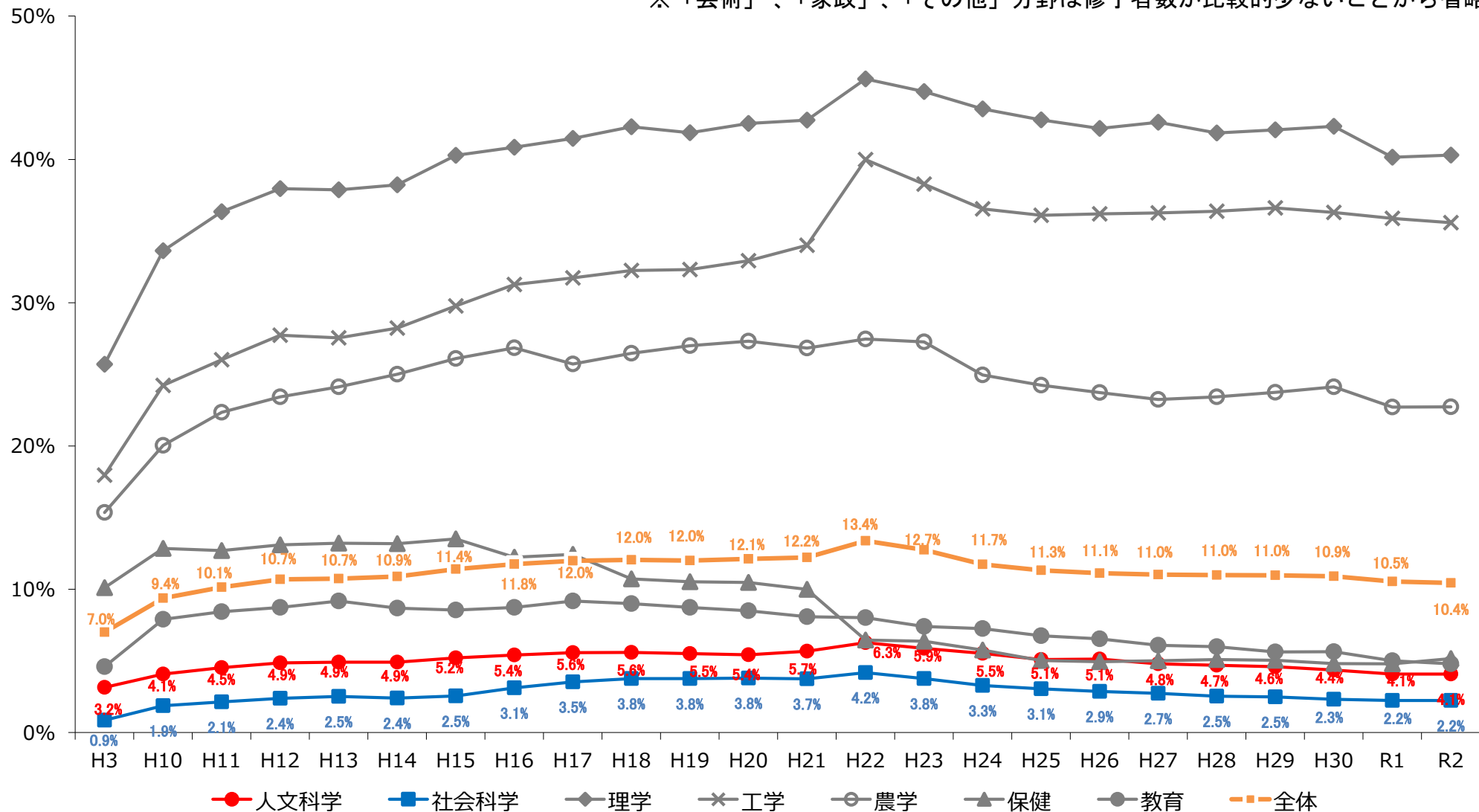
1. 学生数・教員数等	2
2. キャリアパス	25
3. 学位取得までに要する期間	53
4. 大学院教育・研究	62
5. 組織的な取組	75
6. 関係者へのアンケート・ヒアリング結果等.....	86

1. 学生数・教員数等

学士課程修了者の進学率の推移（分野別）

- 修士進学率は全体として横ばいの傾向
- 人文科学・社会科学系の修士進学率は他の分野と比較して低い

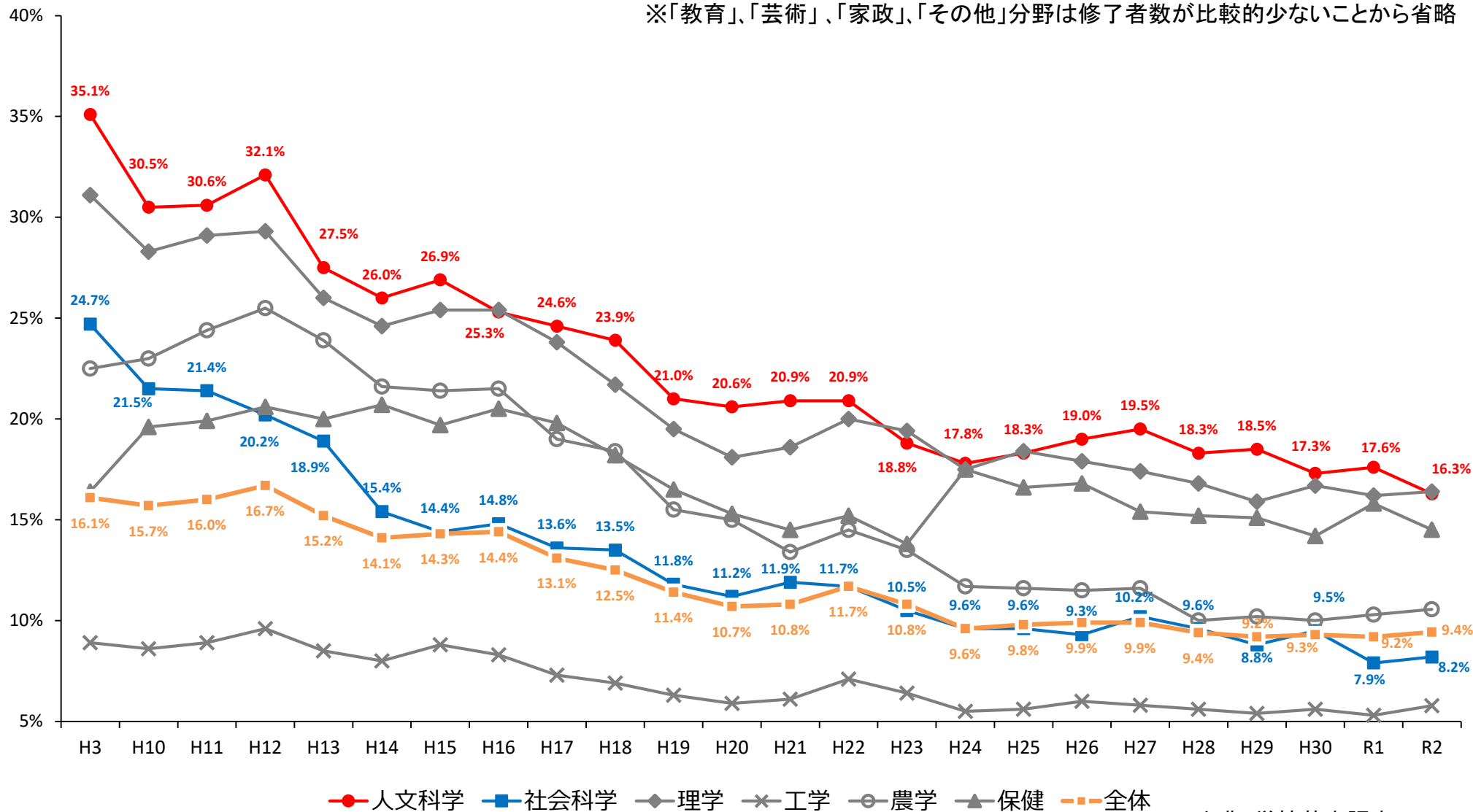
※「芸術」、「家政」、「その他」分野は修了者数が比較的小さいことから省略



修士課程修了者の進学率の推移（分野別）

- 博士進学率は全体として減少傾向
- 人文科学系の博士進学率は他の分野と比較して高く、社会科学系の博士進学率は工学系に次いで低い

※「教育」、「芸術」、「家政」、「その他」分野は修了者数が比較的小さいことから省略

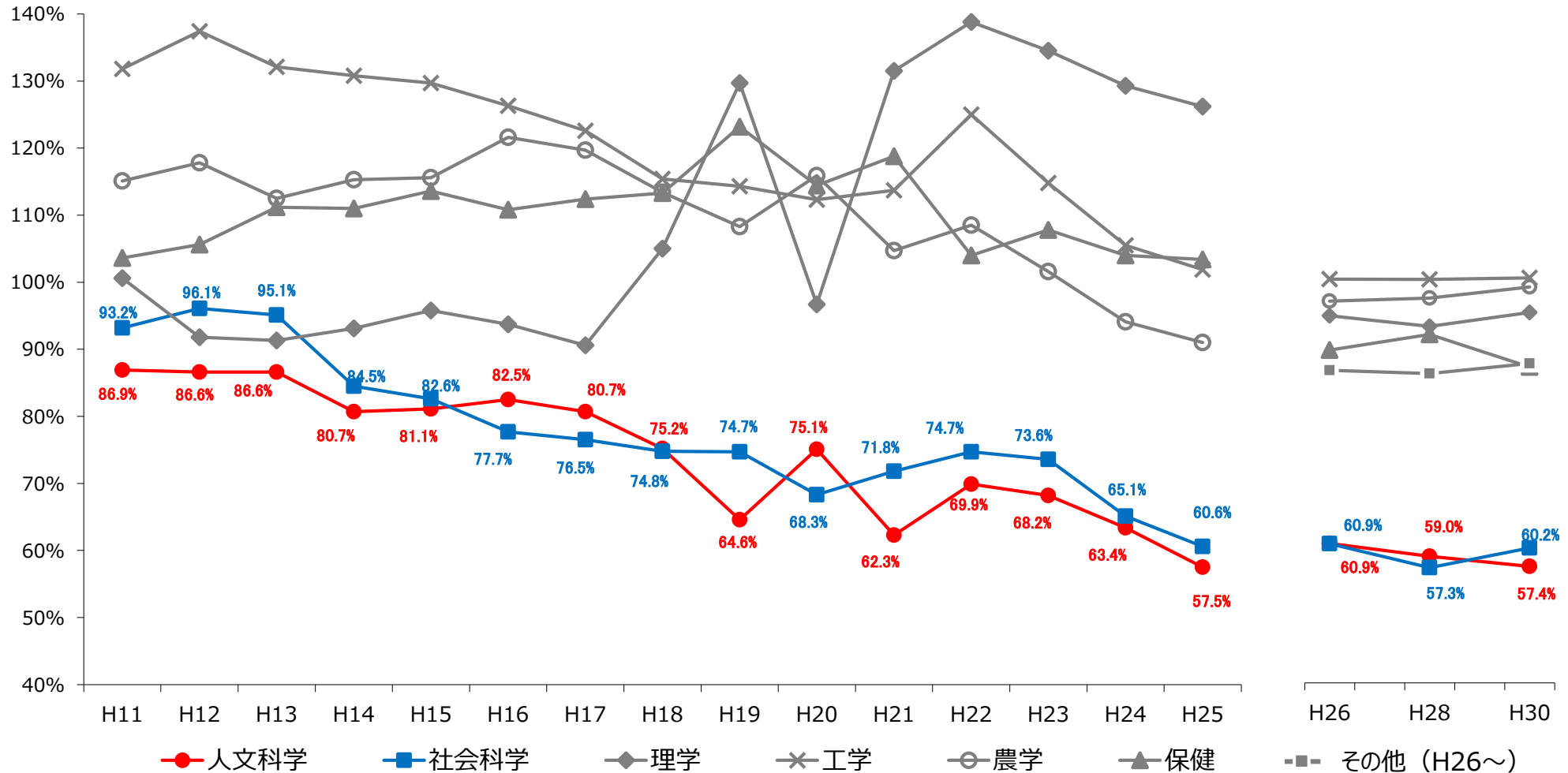


出典：学校基本調査

修士課程入学者充足率の推移（分野別）

- 人文科学系と社会科学系の修士課程の入学者充足率（＝入学者／入学定員）は、他の分野と比べて低く、6割程度となっている

※平成25年度以前と平成26年度以降のグラフは出典が異なる。



出典：（平成25年まで）学校基本統計及び全国大学一覧より文部科学省作成

（平成26年）「大学院における「第2次大学院教育振興施策要綱」等を踏まえた教育改革の実態把握・分析等に関する調査研究」（平成28年2月 株式会社リベルタス・コンサルティング）＜文部科学省：先導的・大学改革推進委託事業＞

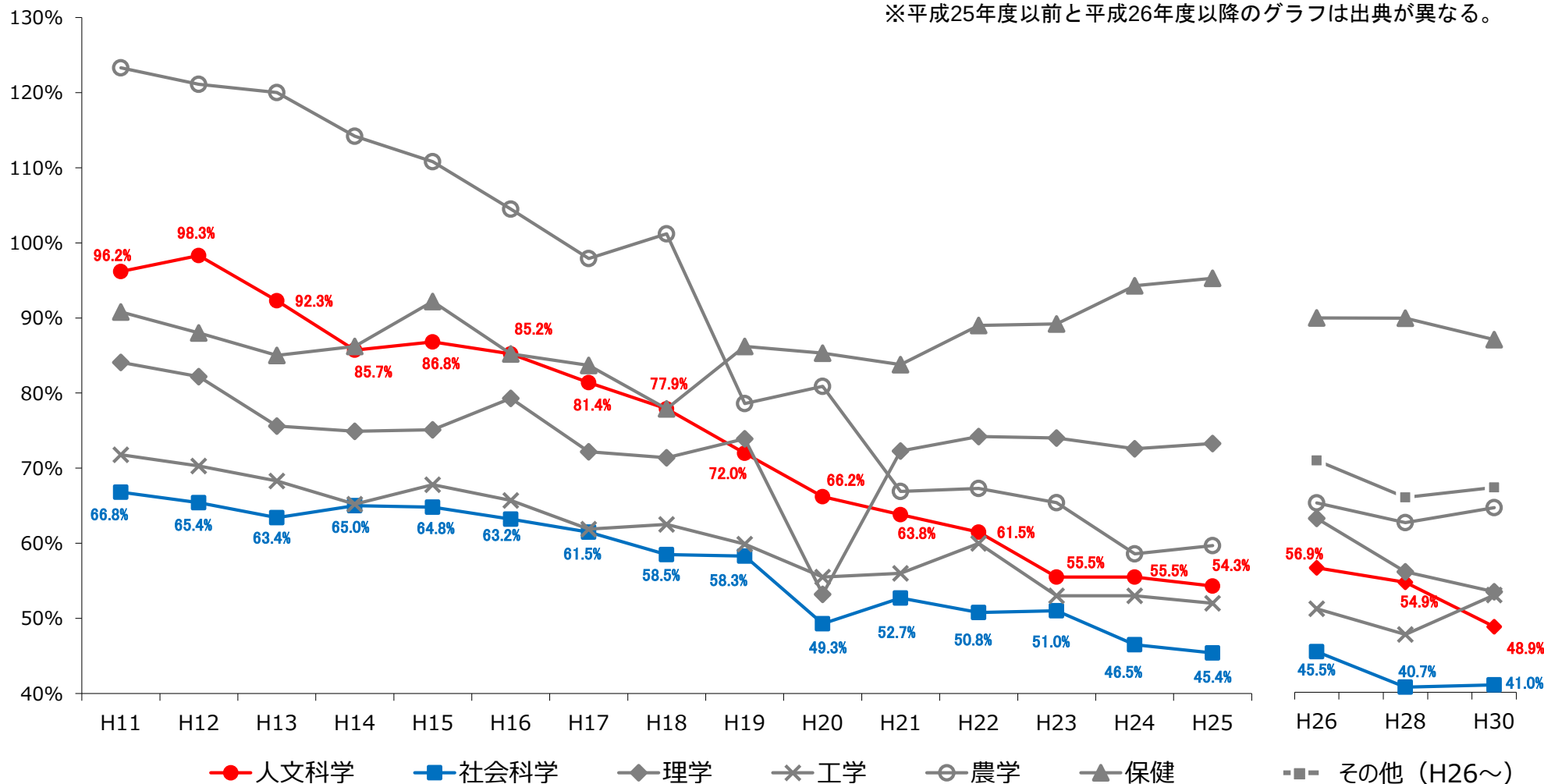
（平成28年）「大学院における「第3次大学院教育振興施策要綱」等を踏まえた教育改革の実態把握・分析等に関する調査研究」（平成30年3月 株式会社リベルタス・コンサルティング）＜文部科学省：先導的・大学改革推進委託事業＞

（平成30年）「大学院における教育改革の実態把握・分析等に関する調査研究」（令和2年3月 株式会社リベルタス・コンサルティング）＜文部科学省：先導的・大学改革推進委託事業＞

博士課程入学者充足率の推移（分野別）

- 博士課程の入学者充足率（＝入学者／入学定員）は全体的に低下傾向にあり、平成30年度においては人文科学・社会科学系の入学者定員充足率は5割を下回っている

※平成25年度以前と平成26年度以降のグラフは出典が異なる。

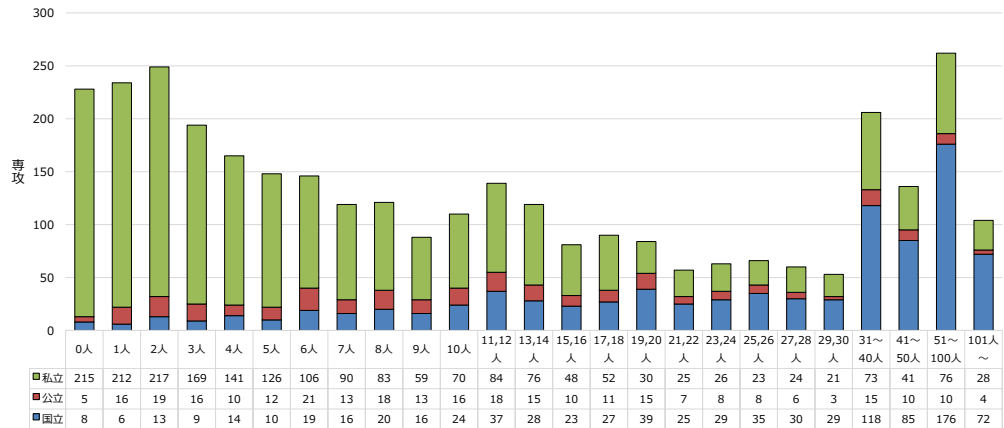


出典：（平成25年度まで）学校基本統計及び全国大学一覧より文部科学省作成

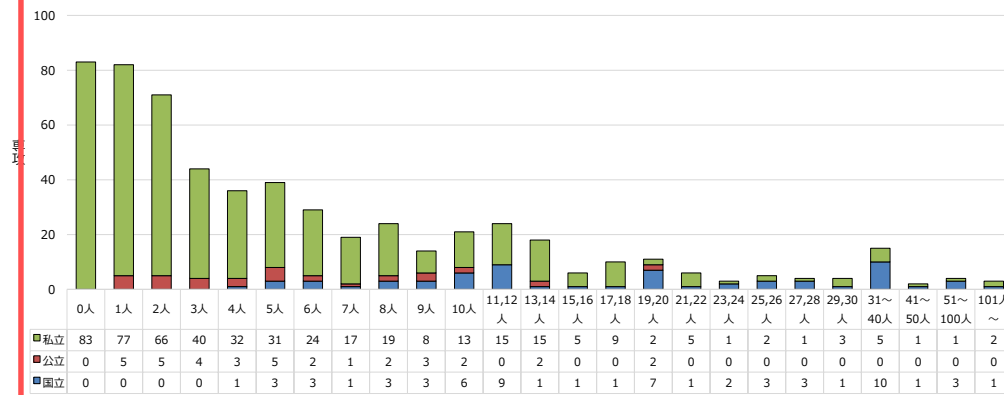
（平成26年）「大学院における「第2次大学院教育振興施策要綱」等を踏まえた教育改革の実態把握・分析等に関する調査研究」（平成28年2月 株式会社リベルタス・コンサルティング）＜文部科学省：先導的・大学改革推進委託事業＞
 （平成28年）「大学院における「第3次大学院教育振興施策要綱」等を踏まえた教育改革の実態把握・分析等に関する調査研究」（平成30年3月 株式会社リベルタス・コンサルティング）＜文部科学省：先導的・大学改革推進委託事業＞
 （平成30年）「大学院における教育改革の実態把握・分析等に関する調査研究」（令和2年3月 株式会社リベルタス・コンサルティング）＜文部科学省：先導的・大学改革推進委託事業＞

専攻別大学院入学者数の分布（修士・博士前期）

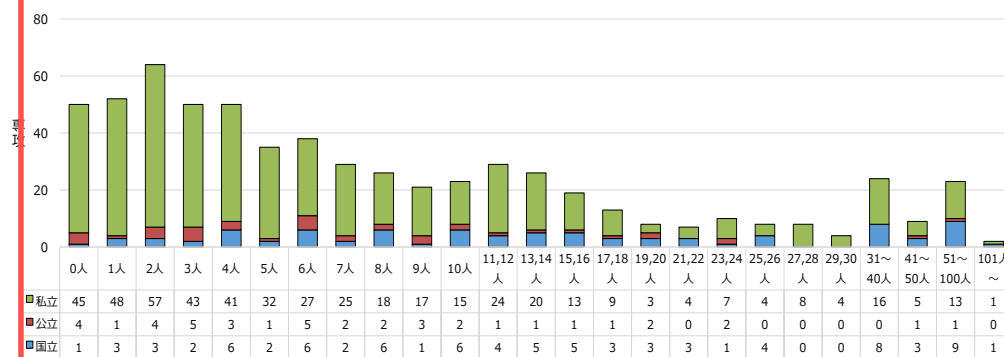
全体：3322専攻（国立：908専攻、公立：299専攻、私立：2115専攻）



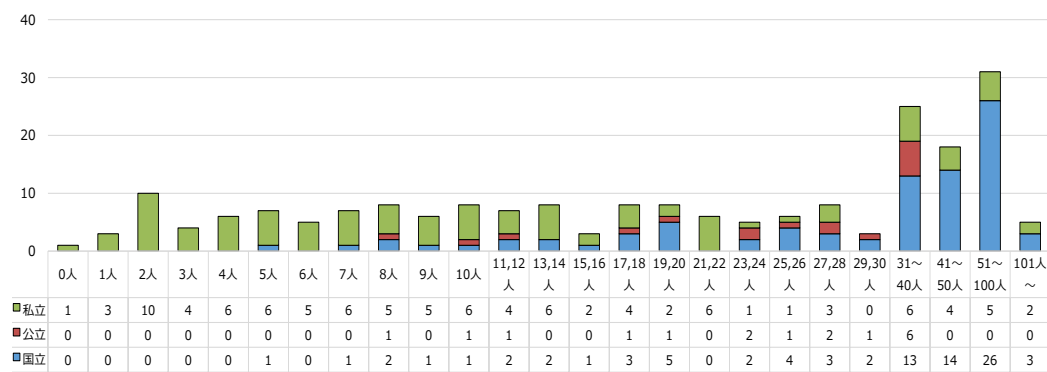
人文科学：577専攻（国立：64専攻、公立：36専攻、私立：477専攻）



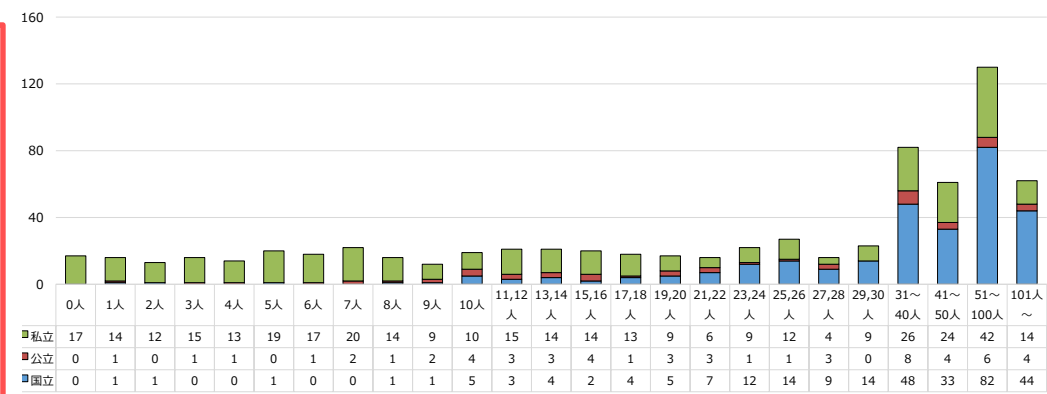
社会科学：628専攻（国立：87専攻、公立：42専攻、私立：499専攻）



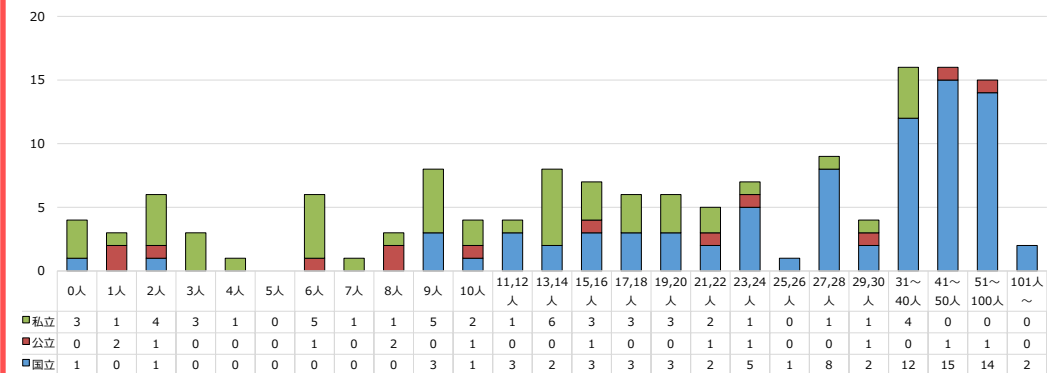
理学：206専攻（国立：86専攻、公立：17専攻、私立：103専攻）



工学：719専攻（国立：291専攻、公立：57専攻、私立：371専攻）

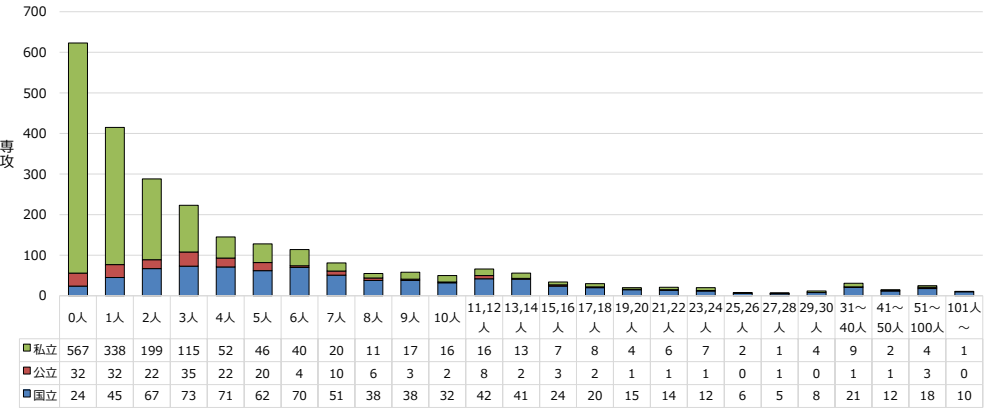


農学：145専攻（国立：81専攻、公立：13専攻、私立：51専攻）

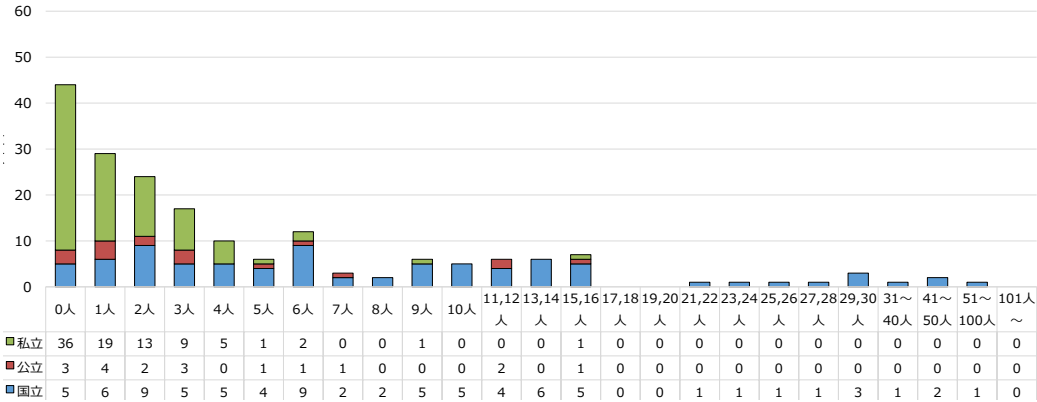


専攻別大学院入学者数の分布（博士後期）

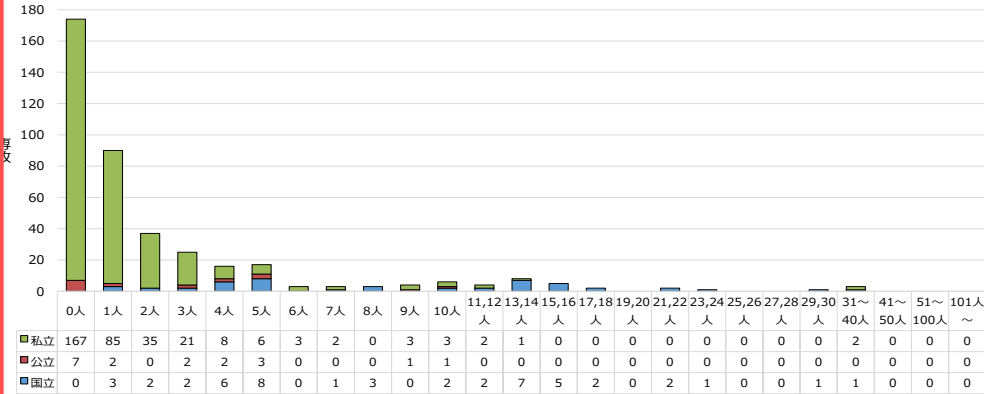
全体：2536専攻（国立：819専攻、公立：212専攻、私立：1505専攻）



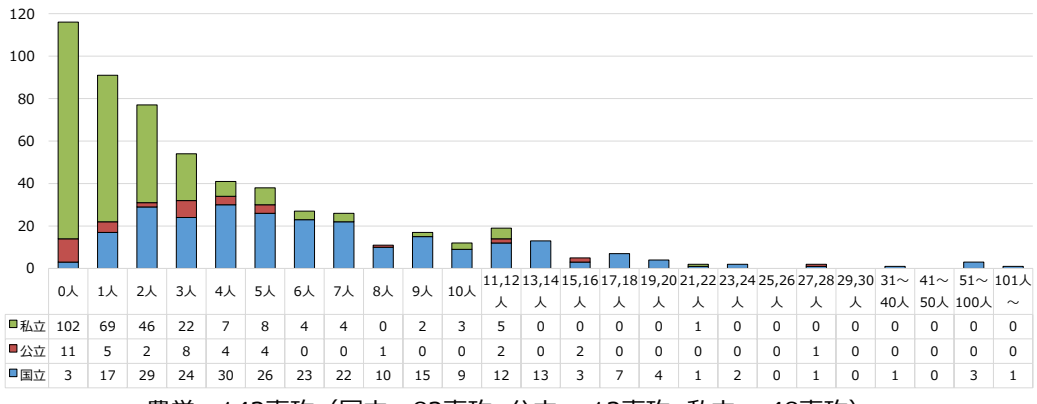
理学：188専攻（国立：83専攻、公立：18専攻、私立：87専攻）



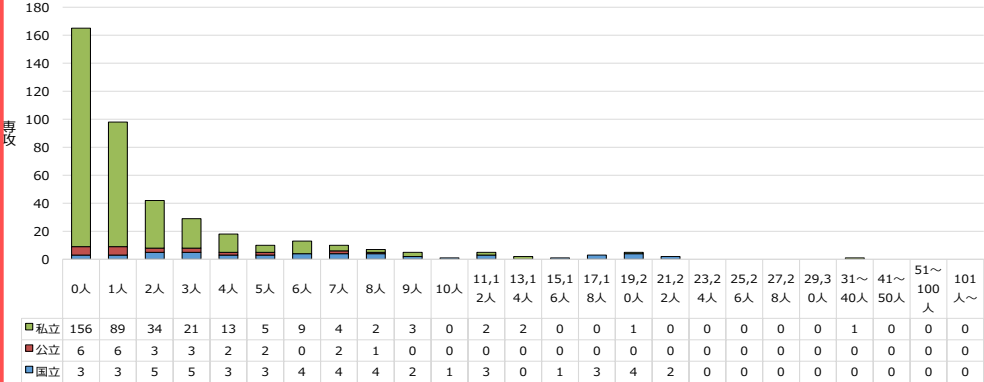
人文科学：404専攻（国立：48専攻、公立：18専攻、私立：338専攻）



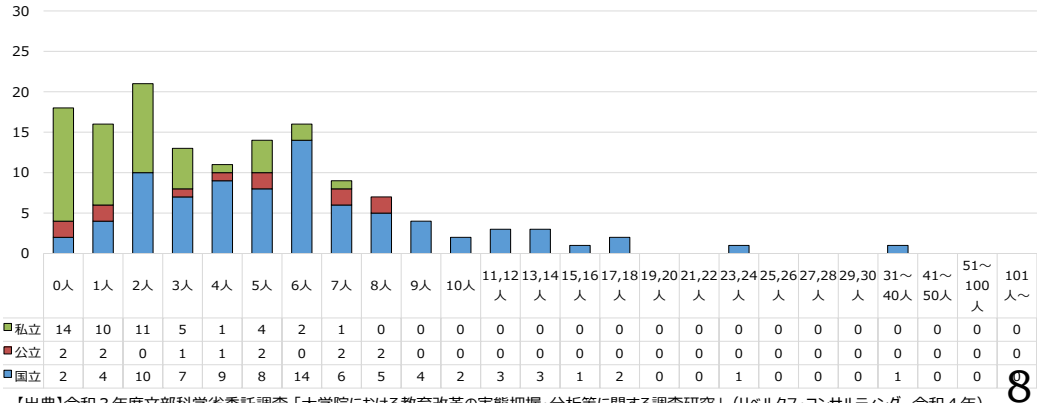
工学：569専攻（国立：256専攻、公立：40専攻、私立：273専攻）



社会科学：417専攻（国立：50専攻、公立：25専攻、私立：342専攻）



農学：142専攻（国立：82専攻、公立：12専攻、私立：48専攻）

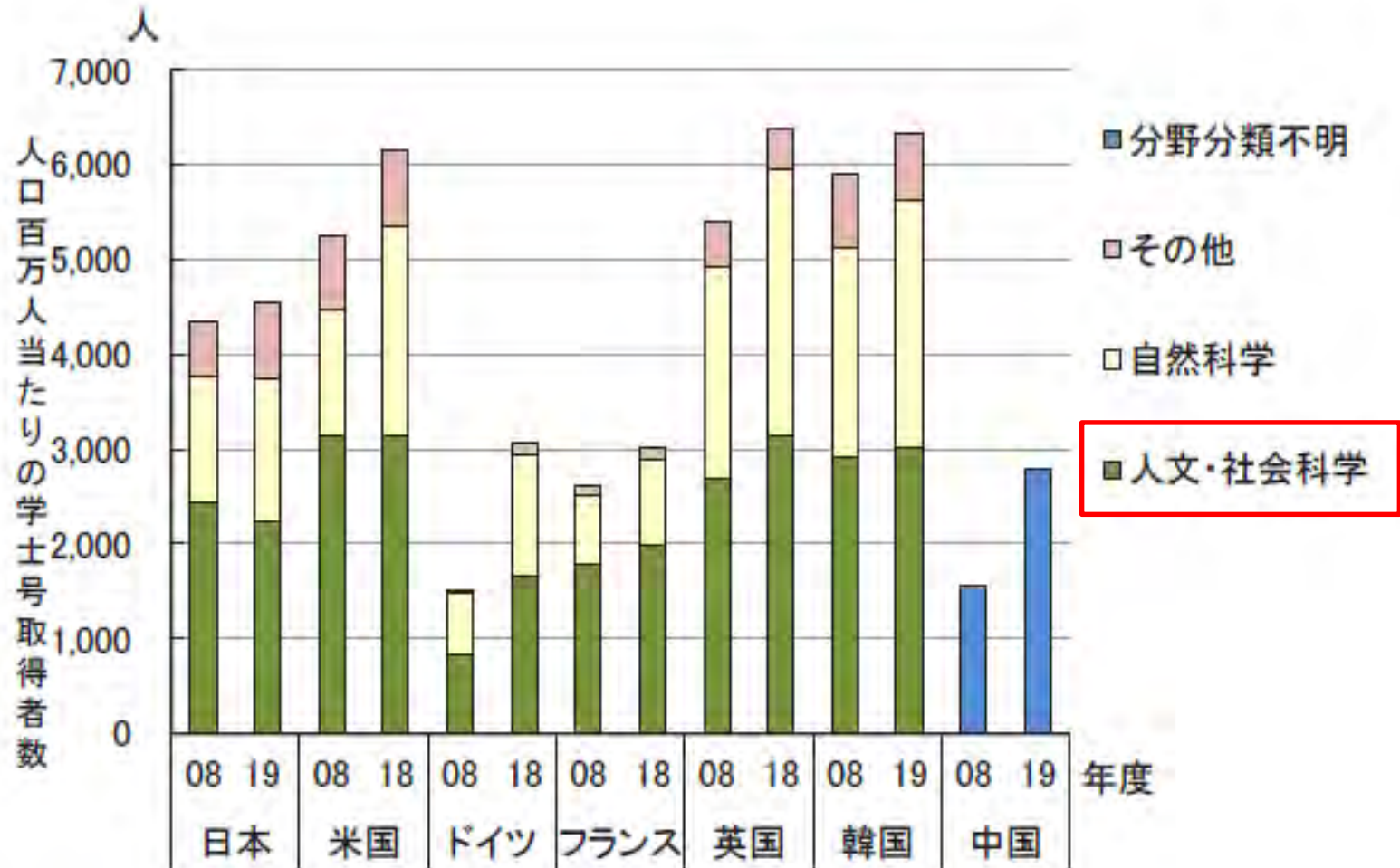


【出典】令和3年度文部科学省委託調査「大学院における教育改革の実態把握・分析等に関する調査研究」（リベルタス・コンサルティング、令和4年）

人口100万人当たりの学士号取得者数の国際比較

- 人文・社会科学分野における人口当たりの学士号取得者数は、諸外国と比較して大きな差はない

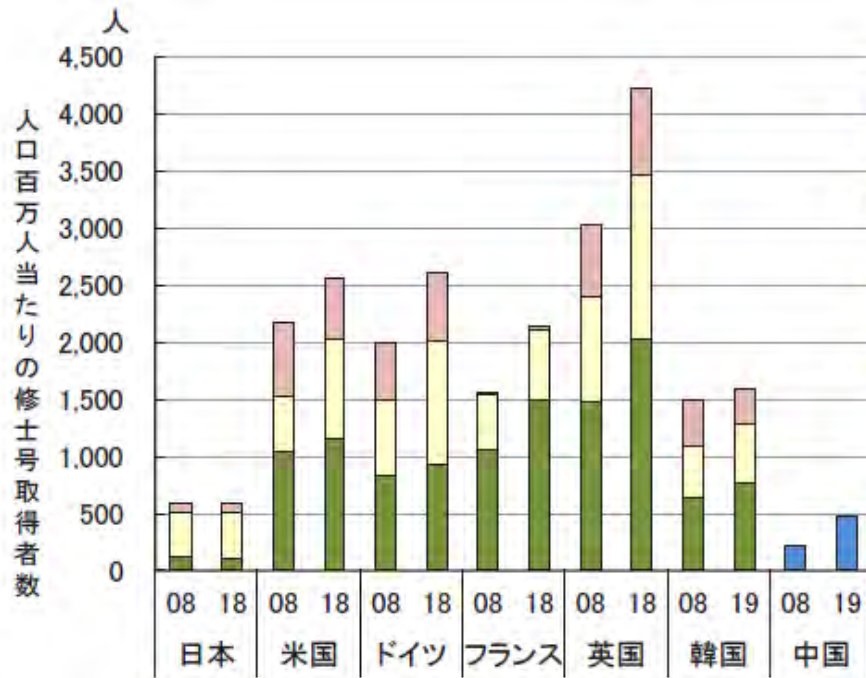
学士



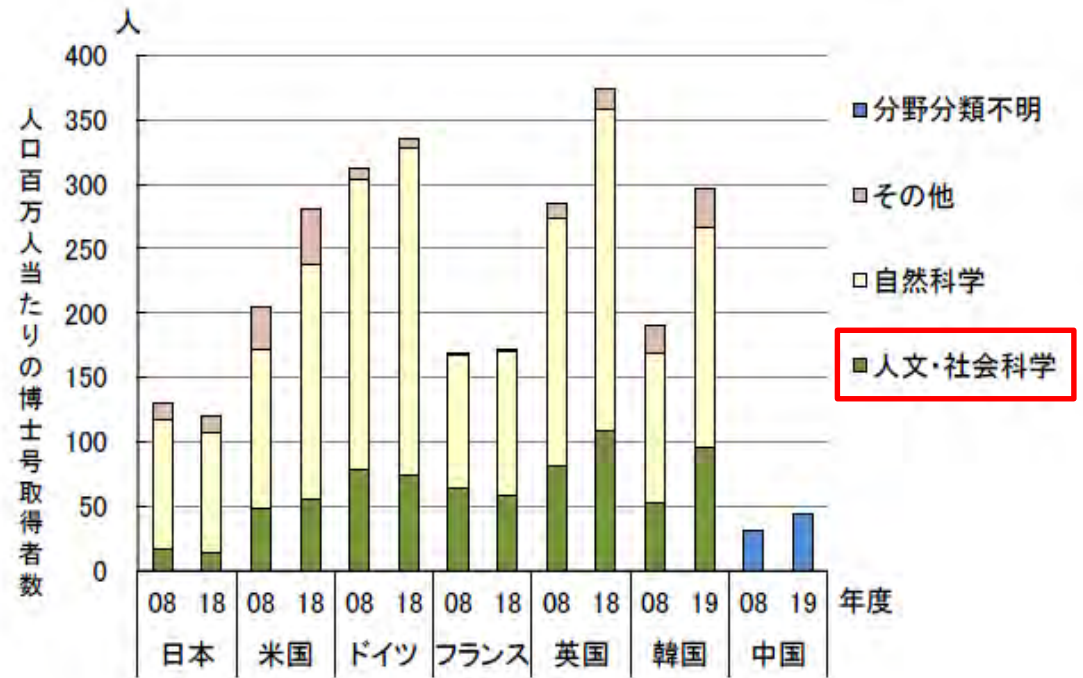
人口100万人当たりの修士号・博士号取得者数の国際比較

- 人文・社会科学分野における人口当たりの修士号・博士号取得者数は、諸外国と比較して少ない

修士



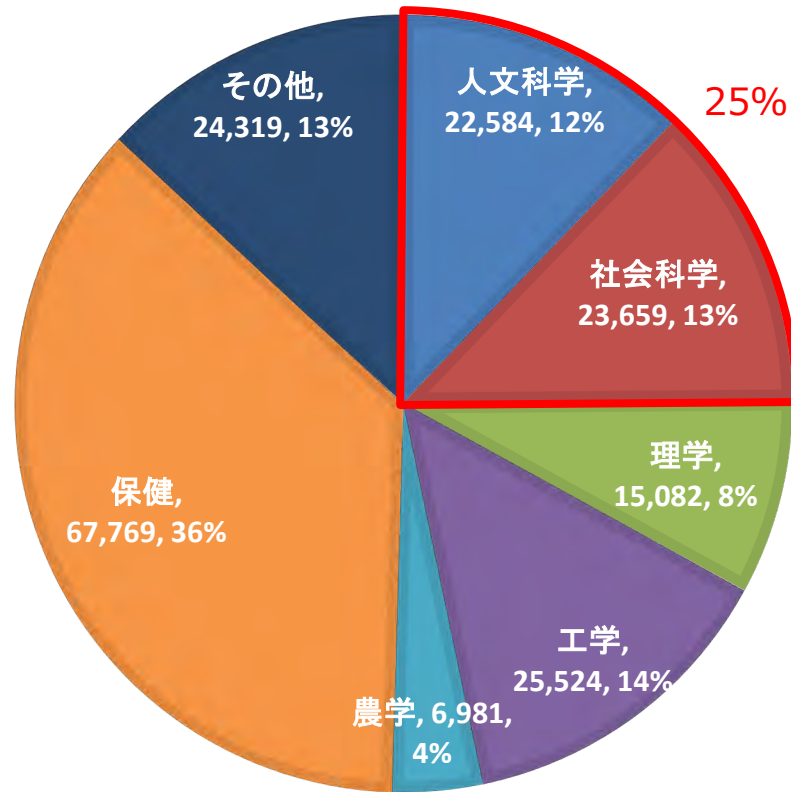
博士



大学本務教員数（令和元年度）

- 本務教員全体に占める人文科学、社会科学分野の教員割合は約25%
- 人文科学、社会科学分野の本務教員は私立大学に多い（約7割）

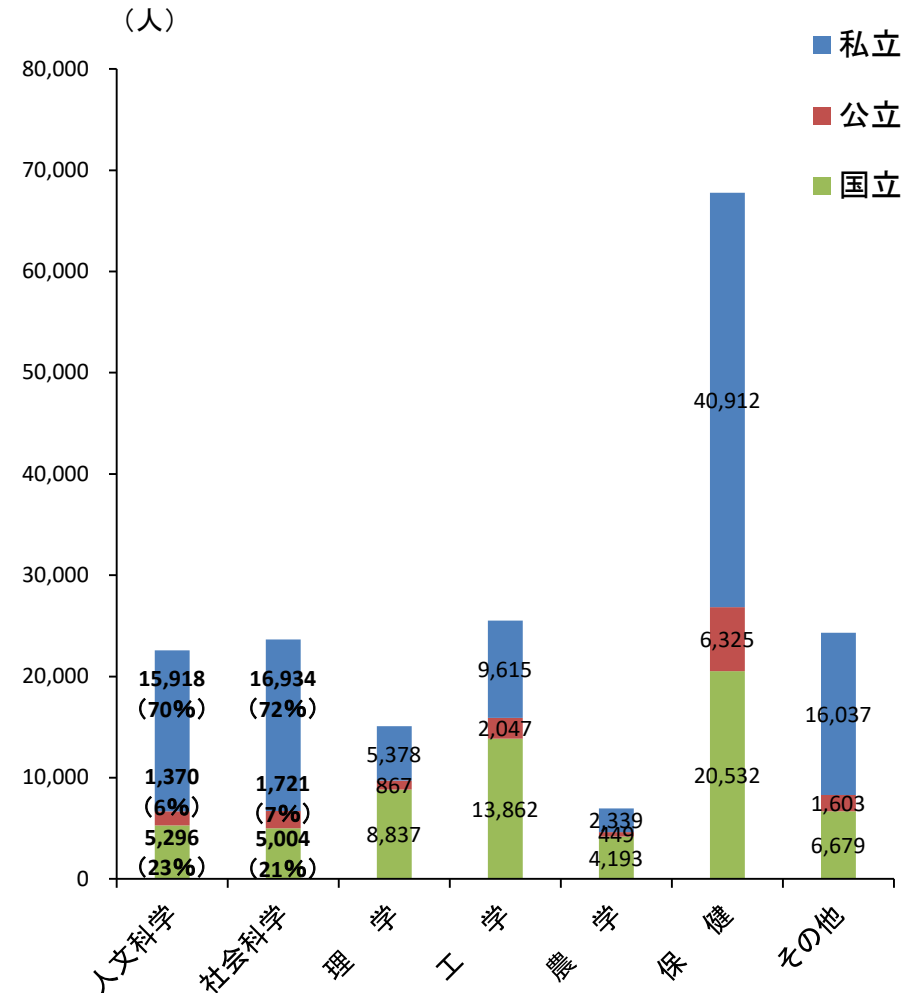
本務教員数（分野別割合）



■ 人文科学 ■ 社会科学 ■ 理学 ■ 工学 ■ 農学 ■ 保健 ■ その他

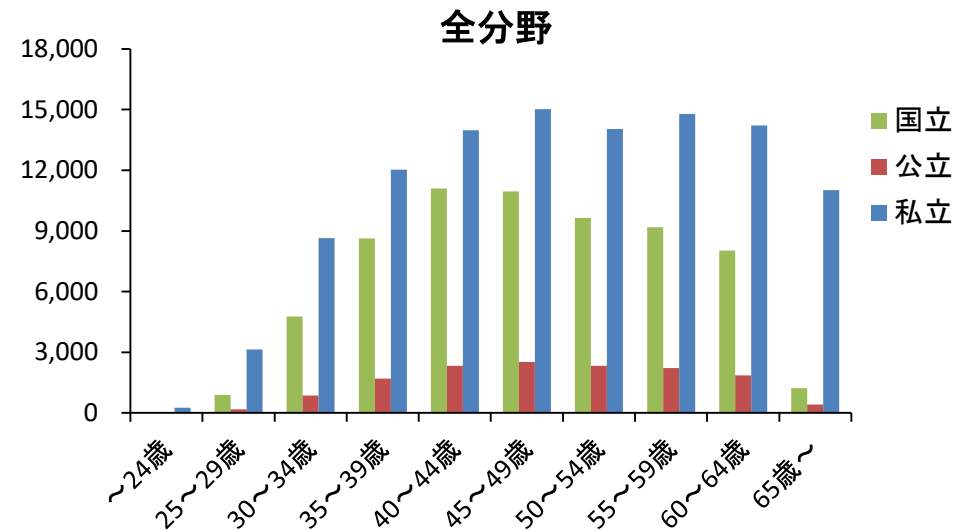
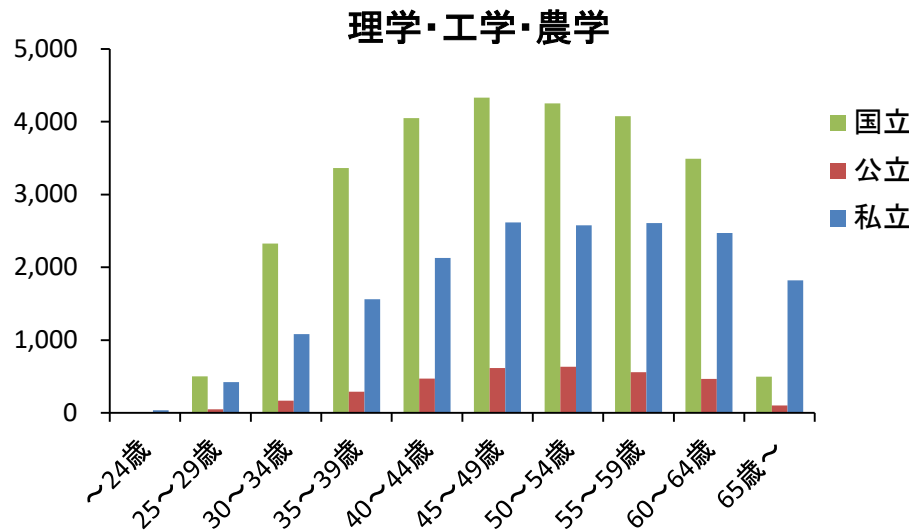
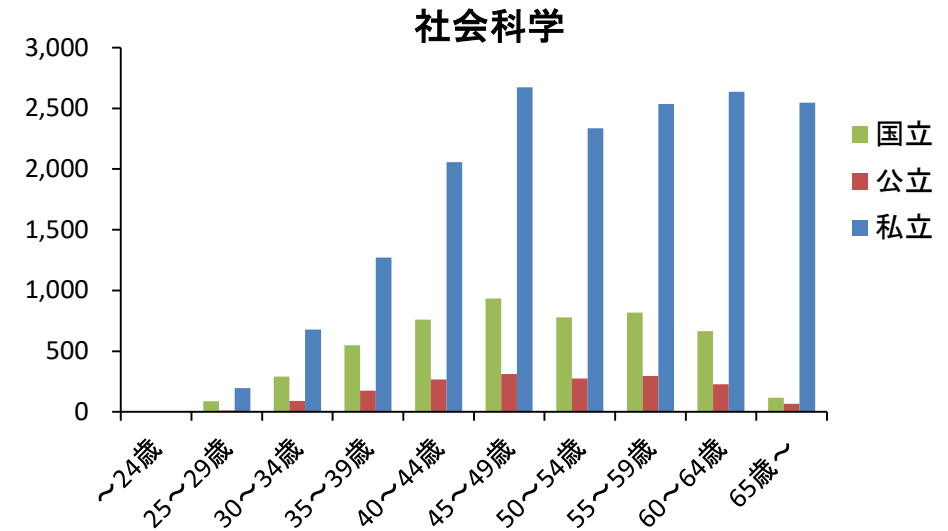
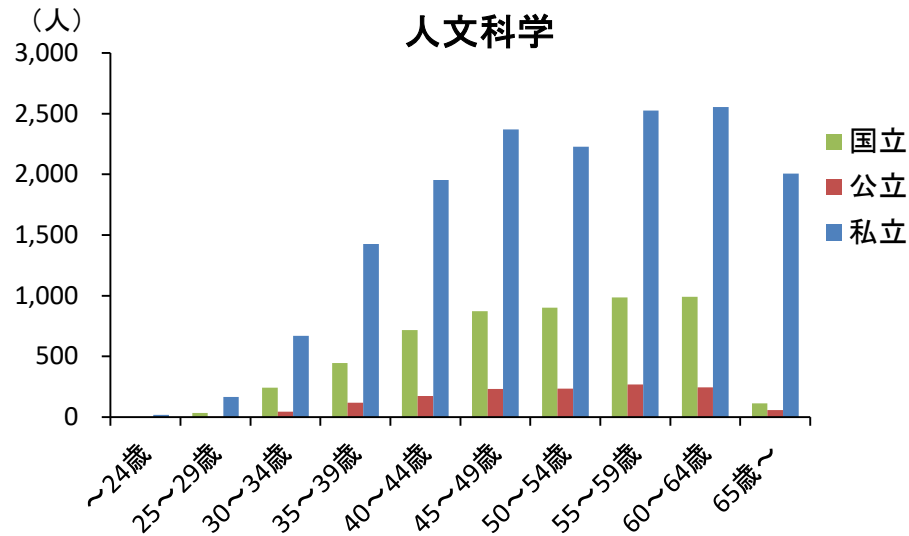
※「その他」は「芸術」、「教育」、「家政」、「商船」、「その他」の分野を含む

本務教員数（分野別）



大学本務教員数（令和元年度）

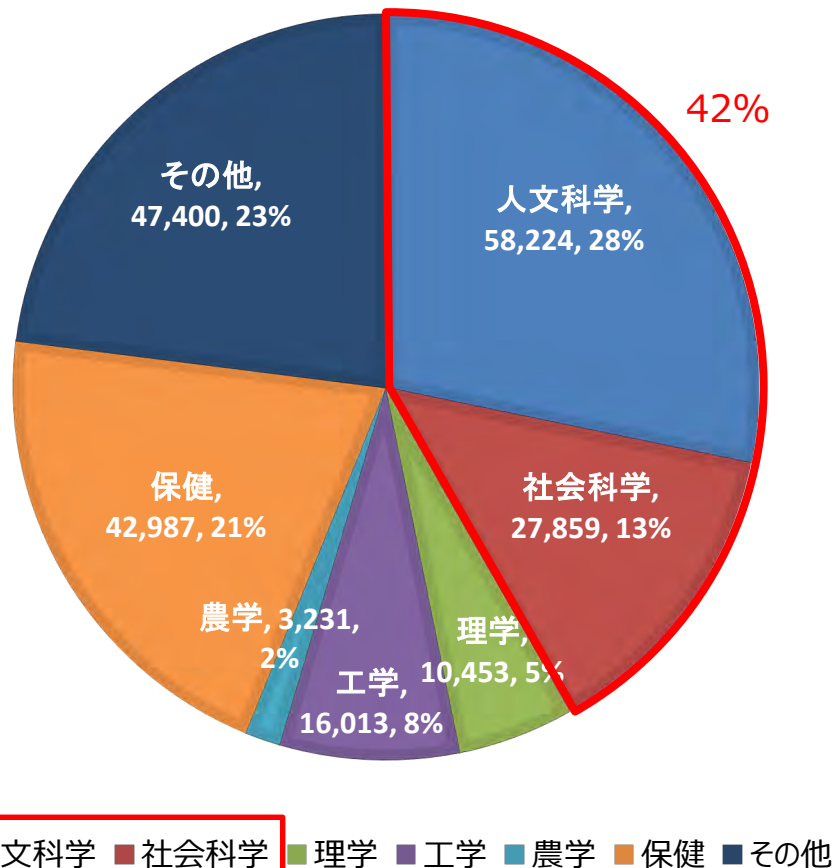
- 人文科学、社会科学分野の本務教員は、他の分野に比べて年齢層が高い傾向にある



大学兼務教員数（令和元年度）

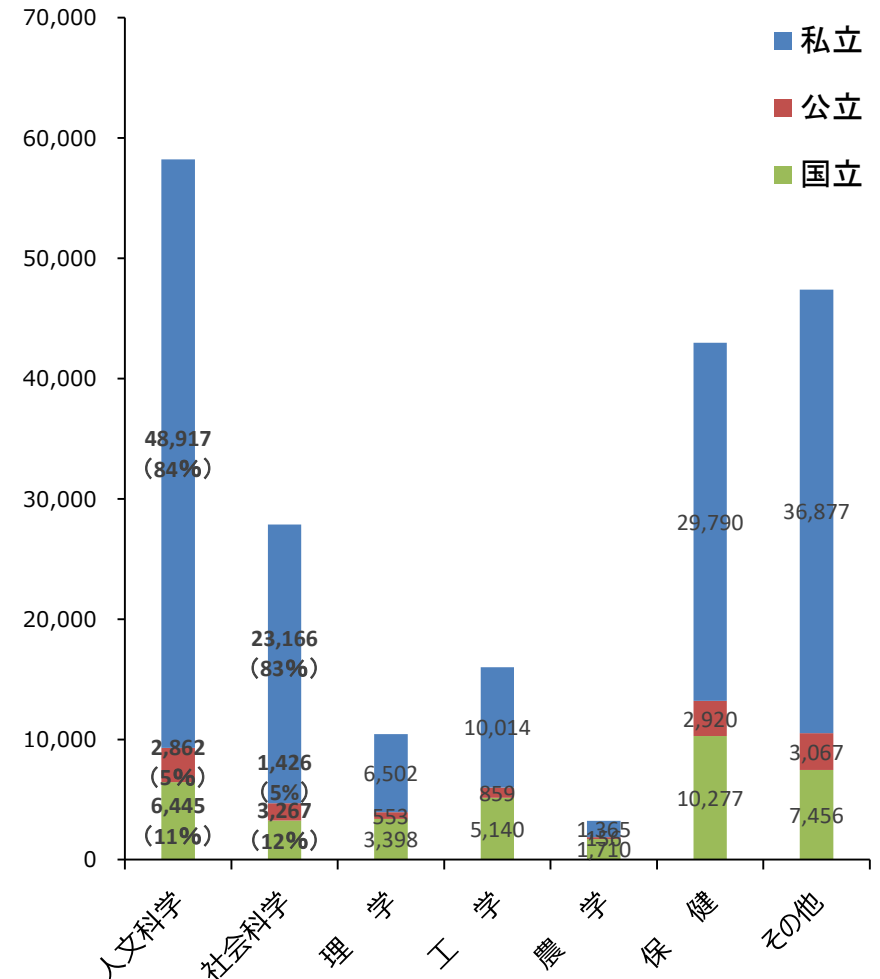
- 人文科学分野の兼務教員は、他の分野と比較して最も多い
- 本務教員と同様に、人文科学、社会科学分野の兼務教員は私立大学に多い（約8割）

兼務教員数（分野別割合）



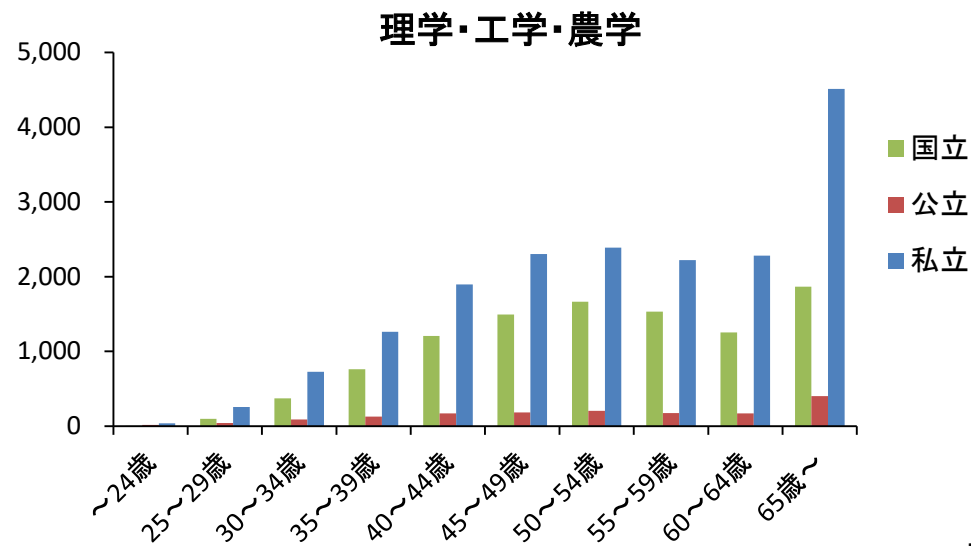
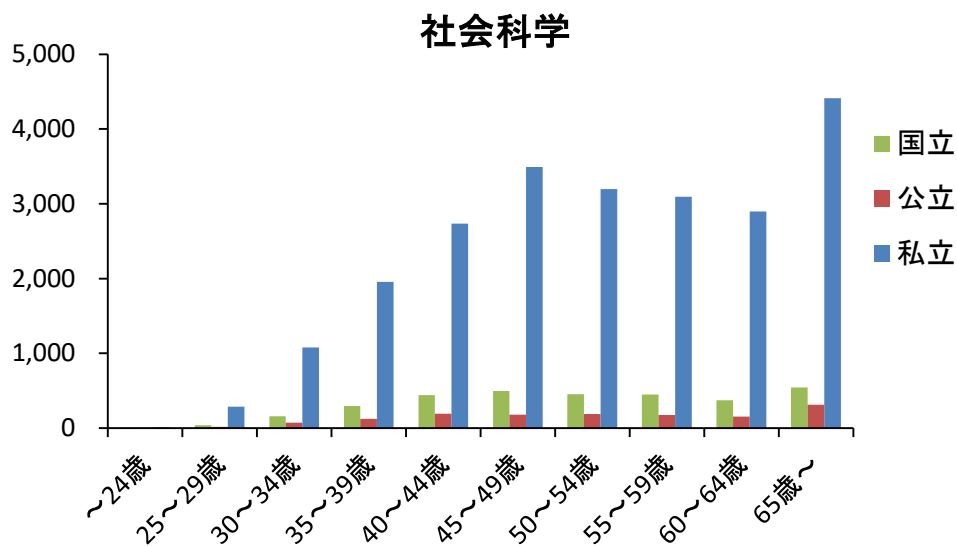
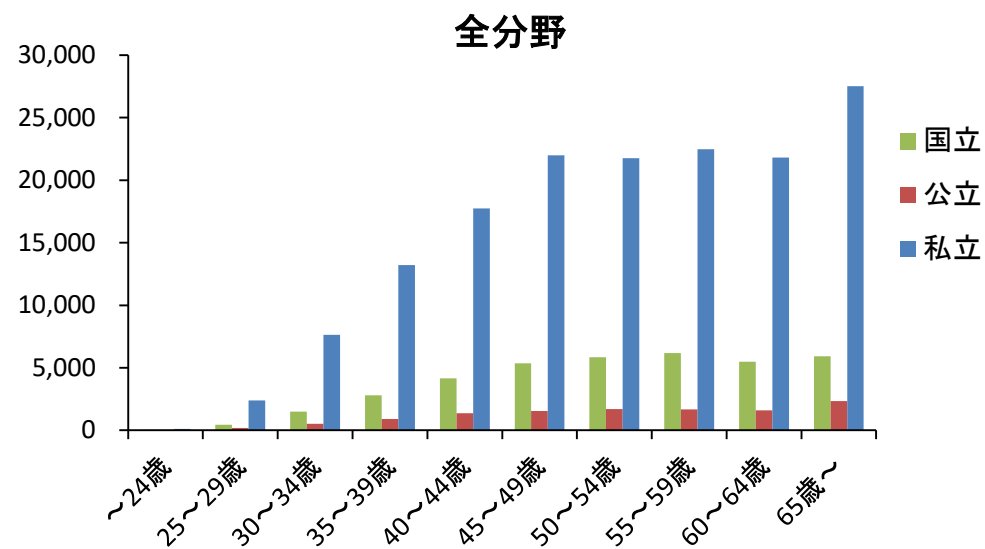
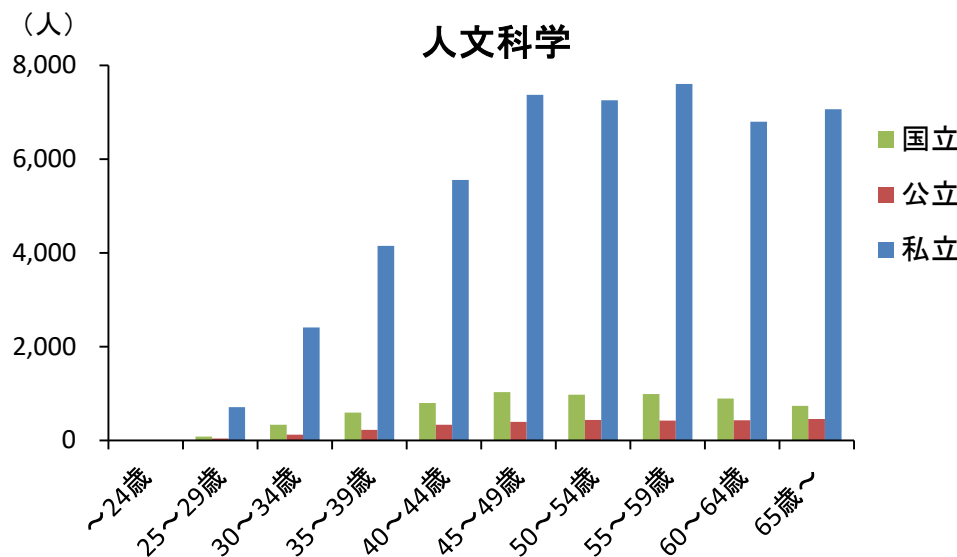
※「その他」は「芸術」、「教育」、「家政」、「商船」、「その他」の分野を含む

兼務教員数（分野・所属別）



大学兼務教員数（令和元年度）

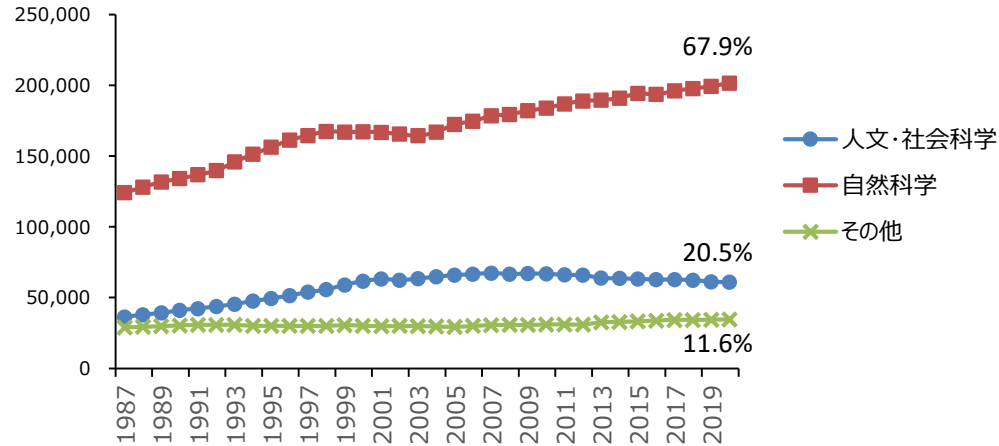
- 兼務教員は、本務教員に比べて、分野によらず年齢層が高い傾向にある
- 特に理学・工学・農学分野では、65歳以上の兼務教員が多い



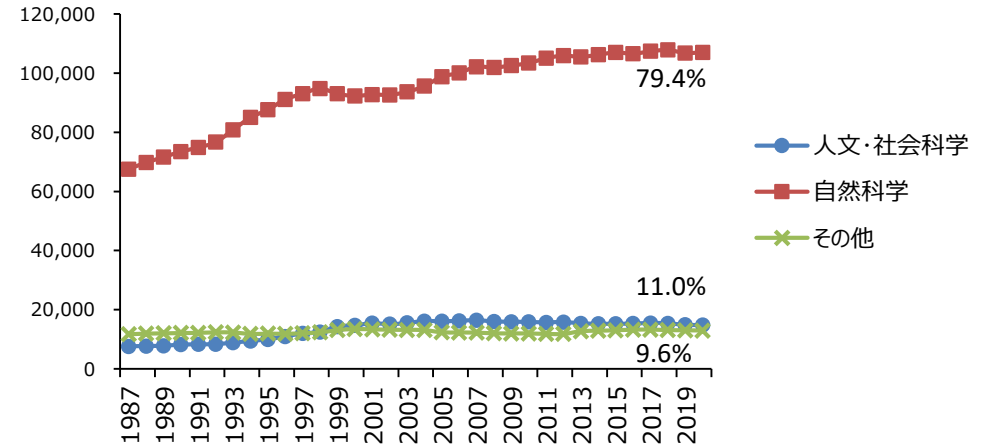
分野別研究者数

- 大学の研究者数は自然科学系を主軸に増加傾向
- 人文・社会科学系は私立大学を中心に増加傾向にあったものの、近年は横ばい、あるいは微減の傾向

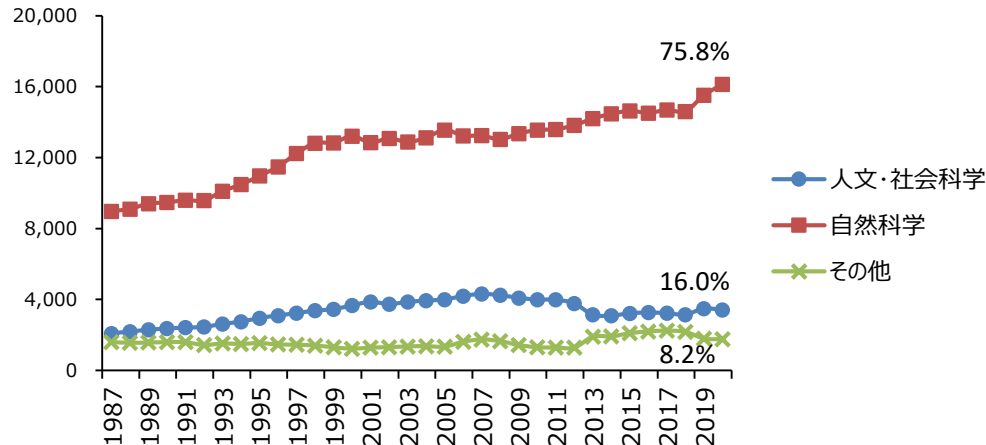
研究者数※（全大学）



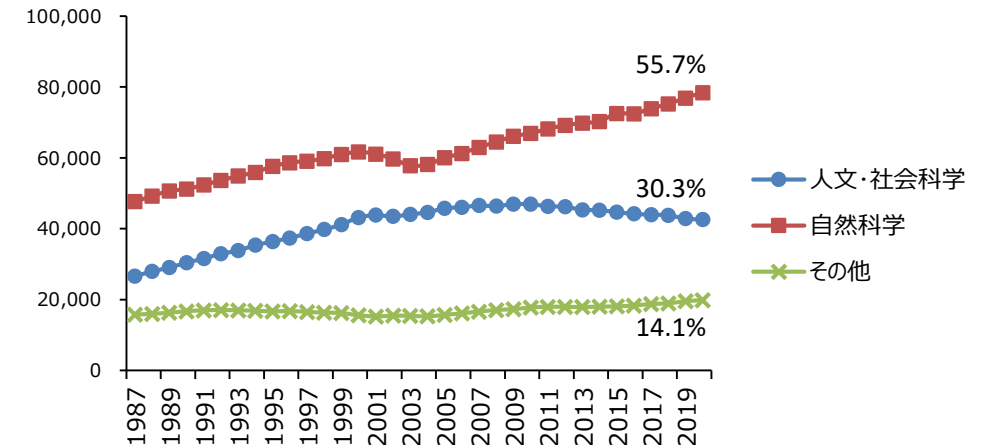
研究者数（国立大学）



研究者数（公立大学）



研究者数（私立大学）

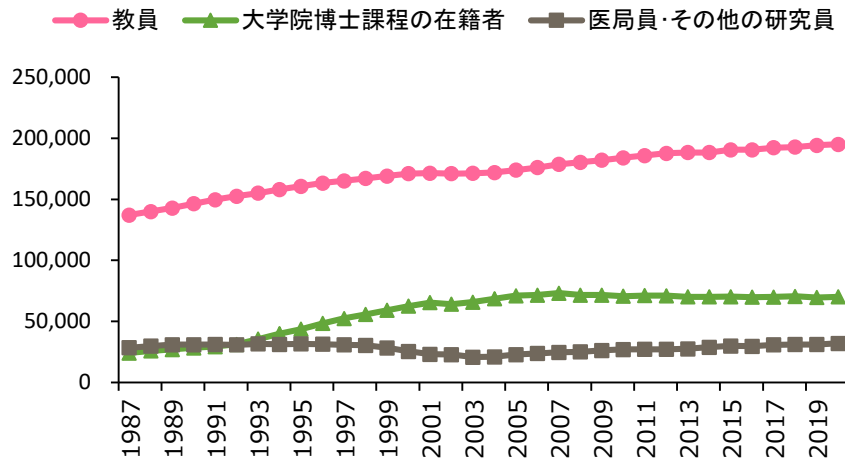


※研究者：大学（短期大学を除く）の課程を修了した者（又はこれと同等以上の専門的知識を有する者）であり、特定の研究テーマをもって研究を行っている者で、本務者（教員、博士課程在籍者、医局員、その他の研究員）もしくは兼務者を指す

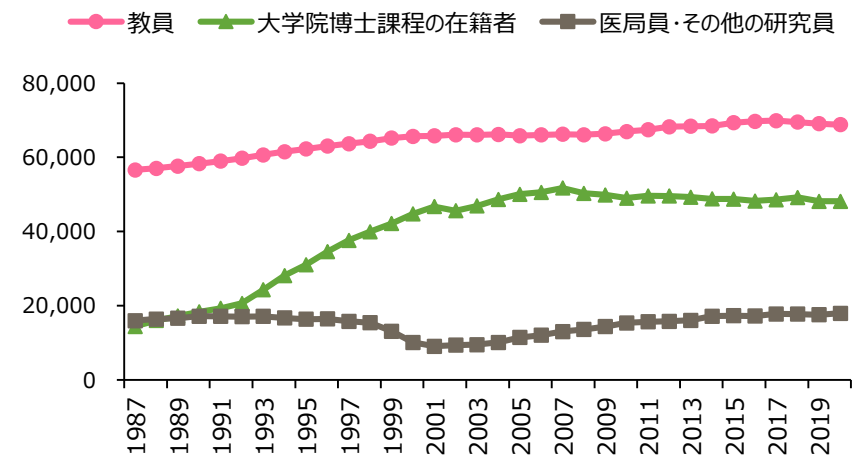
研究本務者の内訳（全分野）

- 国立大学では教員数はほとんど増えず、博士課程在籍者が研究者数を押し上げている
- 国立大学に比べて、公立大学及び私立大学では教員数が増加している

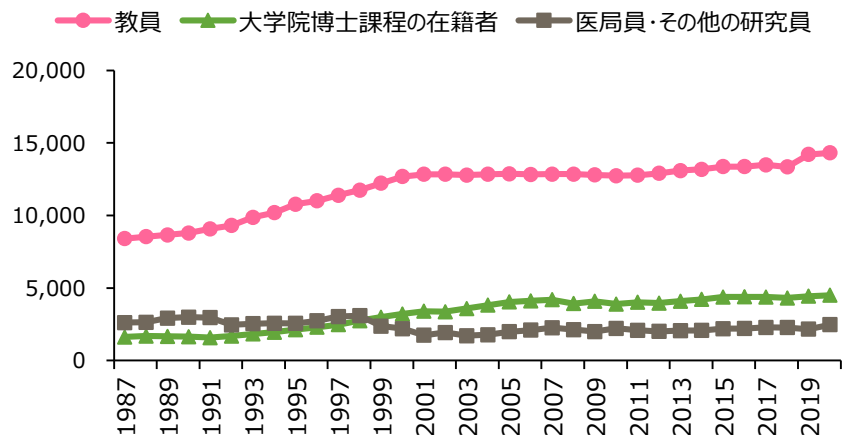
研究本務者の内訳（全大学）



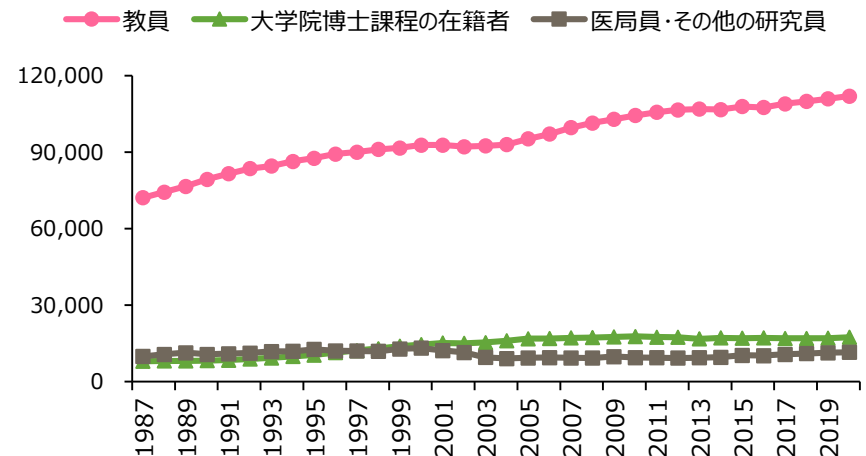
研究本務者の内訳（国立大学）



研究本務者の内訳（公立大学）



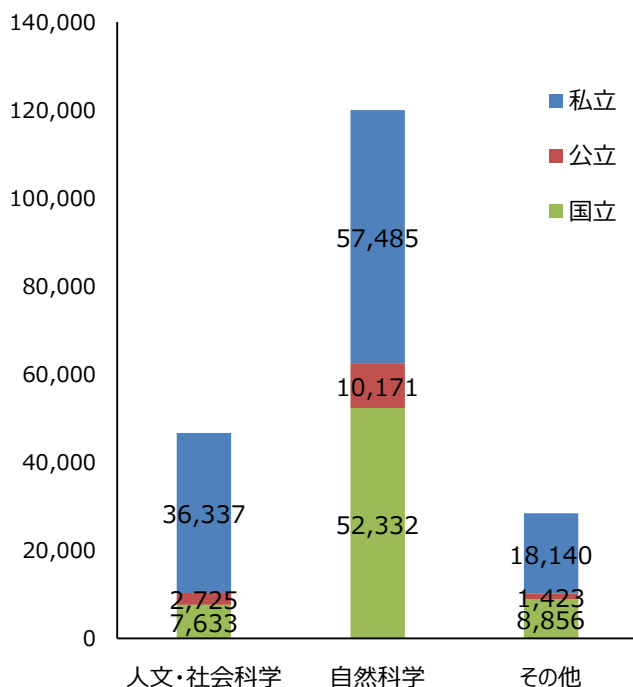
研究本務者の内訳（私立大学）



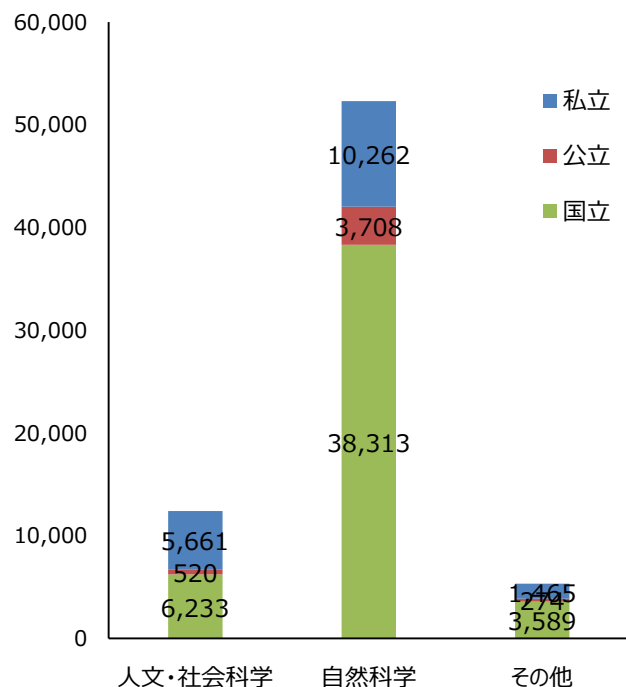
研究本務者の内訳

- 研究本務者の教員については私立大学が占める割合が大きく、人文・社会科学においてより顕著
- 博士課程在籍者及び医局員・その他の研究員については国立大学が占める割合が大きい

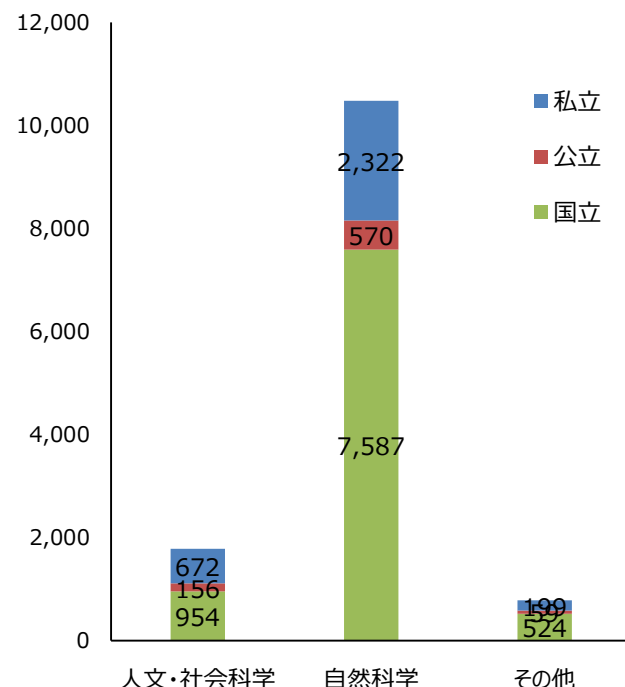
教員（研究本務者）



博士課程在籍者（研究本務者）



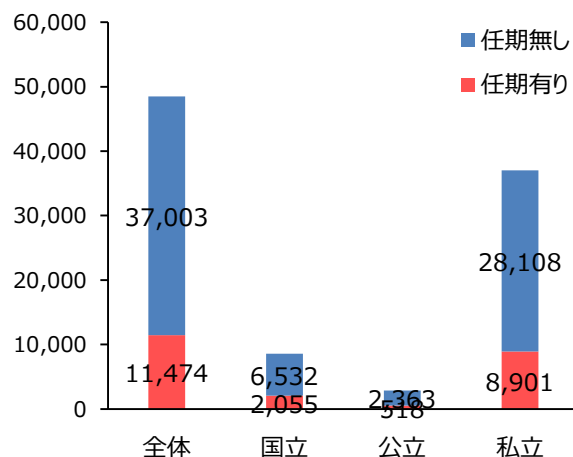
医局員・その他の研究員（研究本務者）



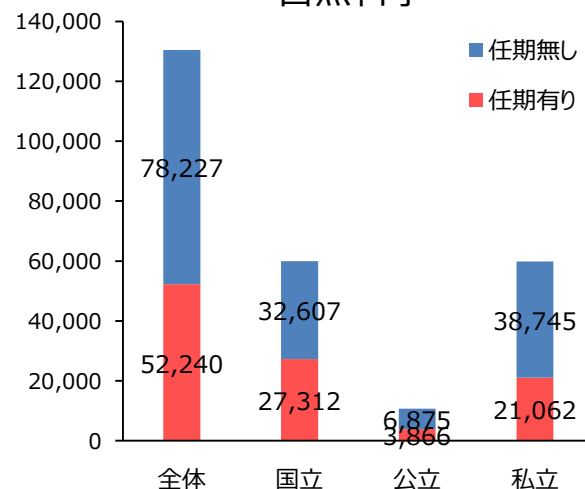
研究本務者の任期の有無

- 人文・社会科学系の研究本務者は、自然科学系に比べて任期無しの割合が高い
- 国立・公立・私立大学間において、任期の有無の割合については大きな差は見られない

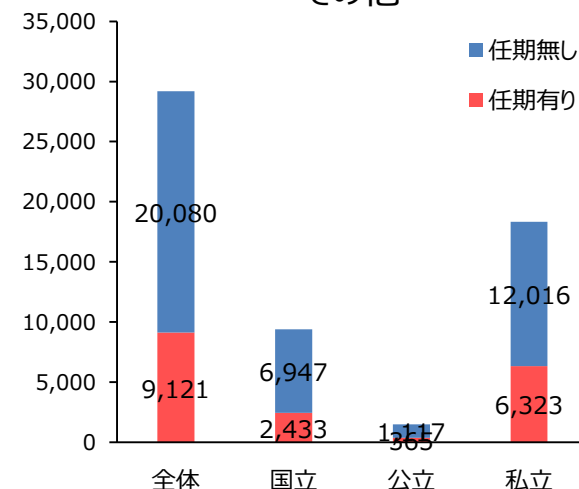
人文・社会科学



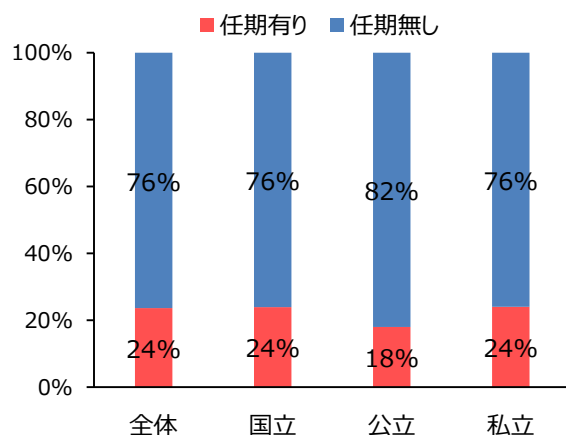
自然科学



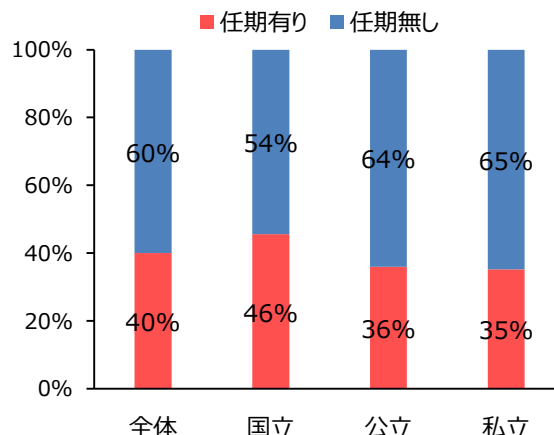
その他



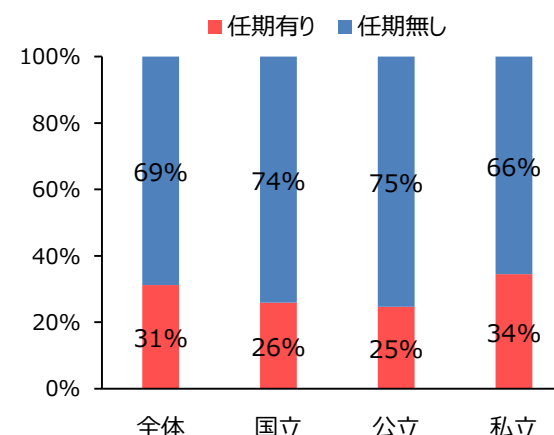
人文・社会科学



自然科学



その他

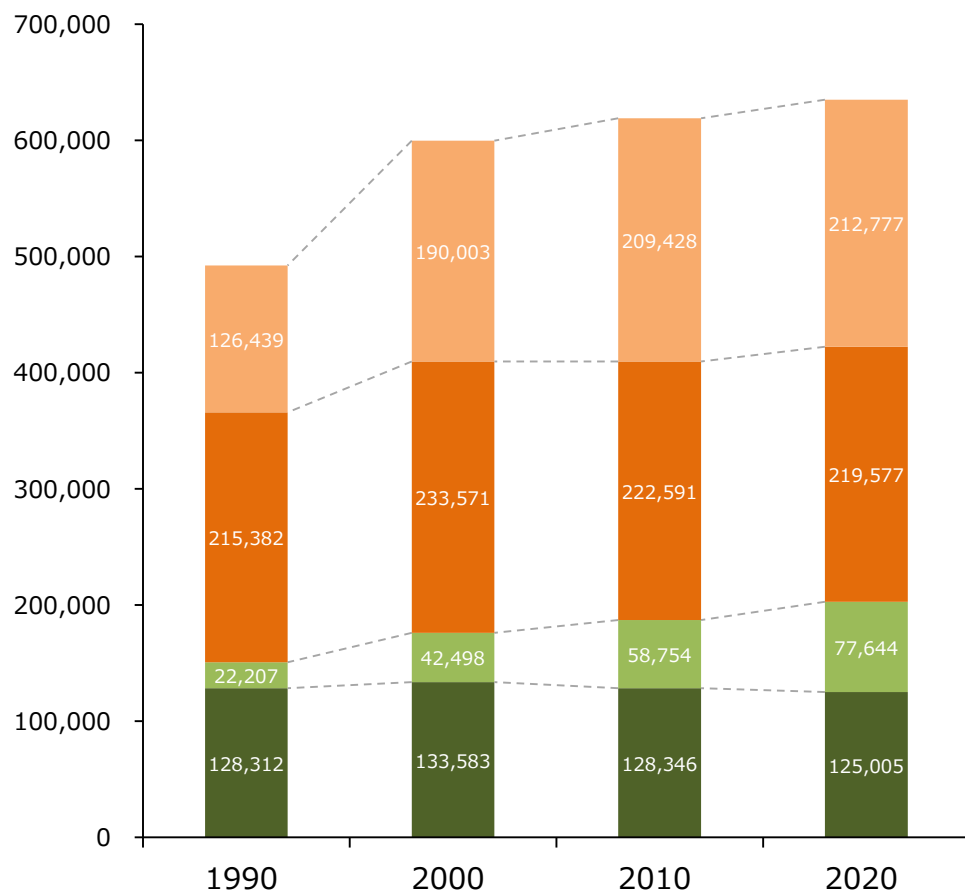


※任期無し: 任期無し研究者の定義は出典元に基づく。

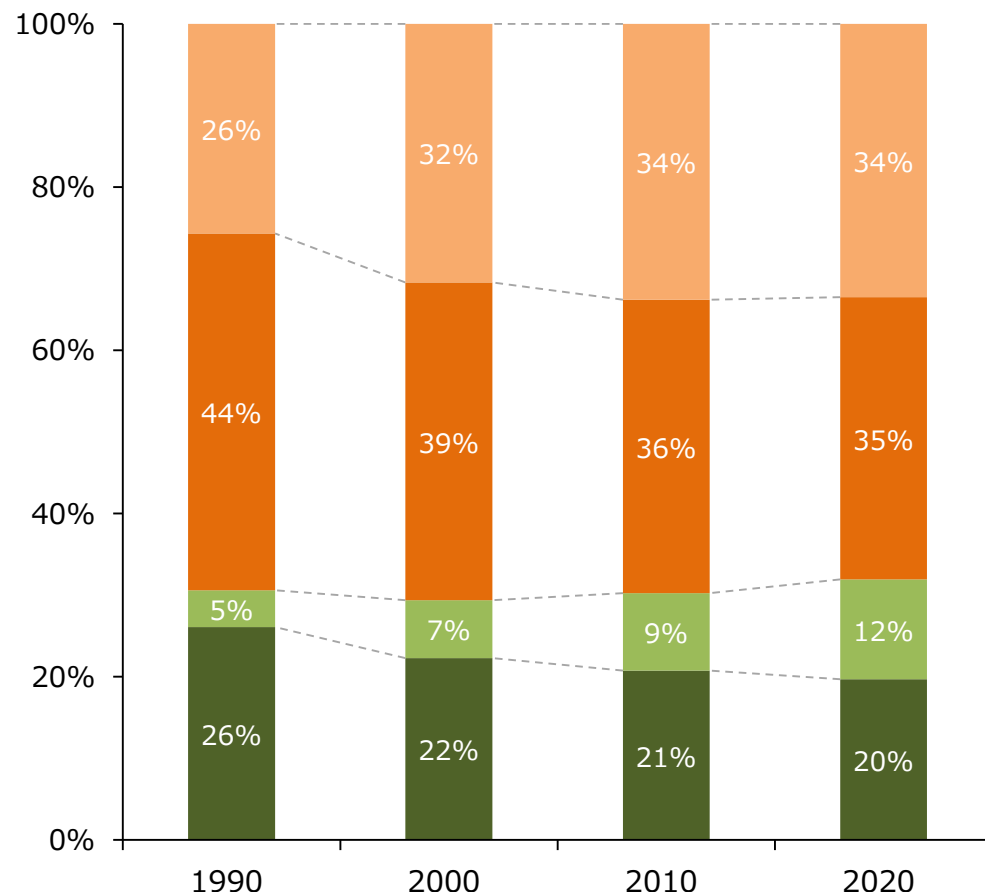
※任期有り: 研究本務者の教員及びその他の研究者のうち、任期無し研究者以外の者。

男女別・分野別入学者数（学部）

人文・社会科学・その他、自然科学の男女別入学者数の推移



全体を100%としたときの人文・社会科学・その他、自然科学の男女別入学者の割合の推移

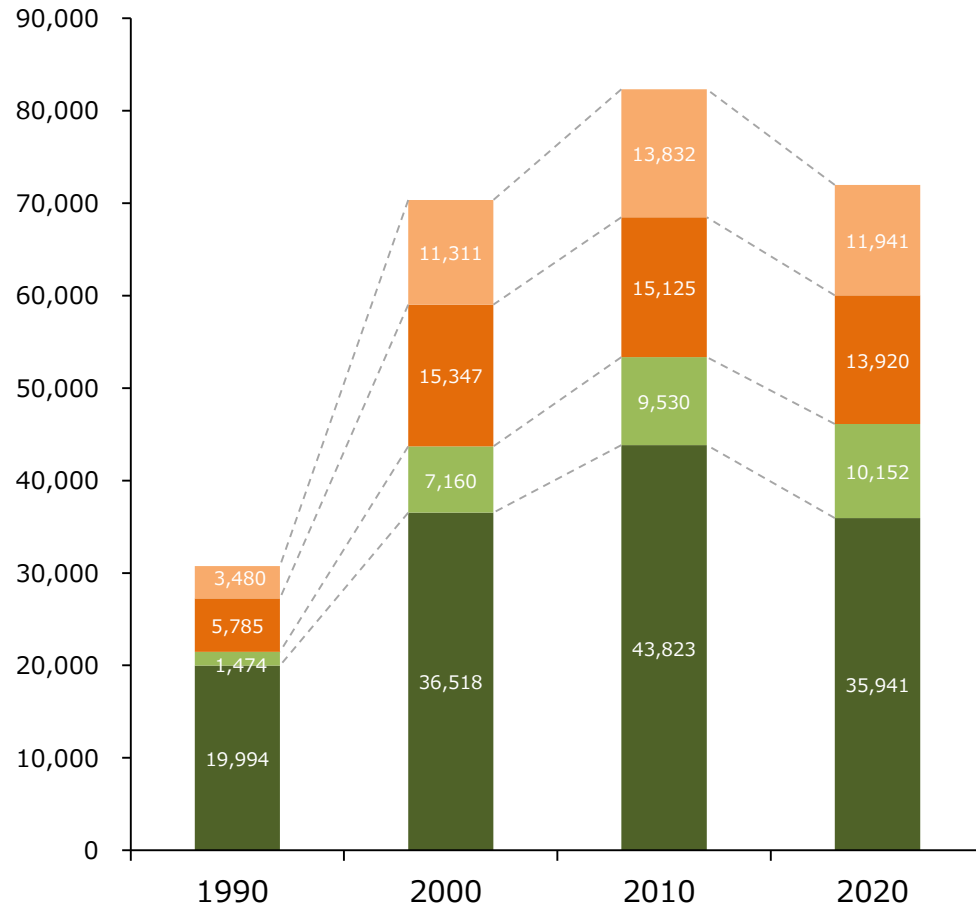


■ 自然科学（男性） ■ 自然科学（女性）
■ 人文・社会科学・その他（男性） ■ 人文・社会科学・その他（女性）

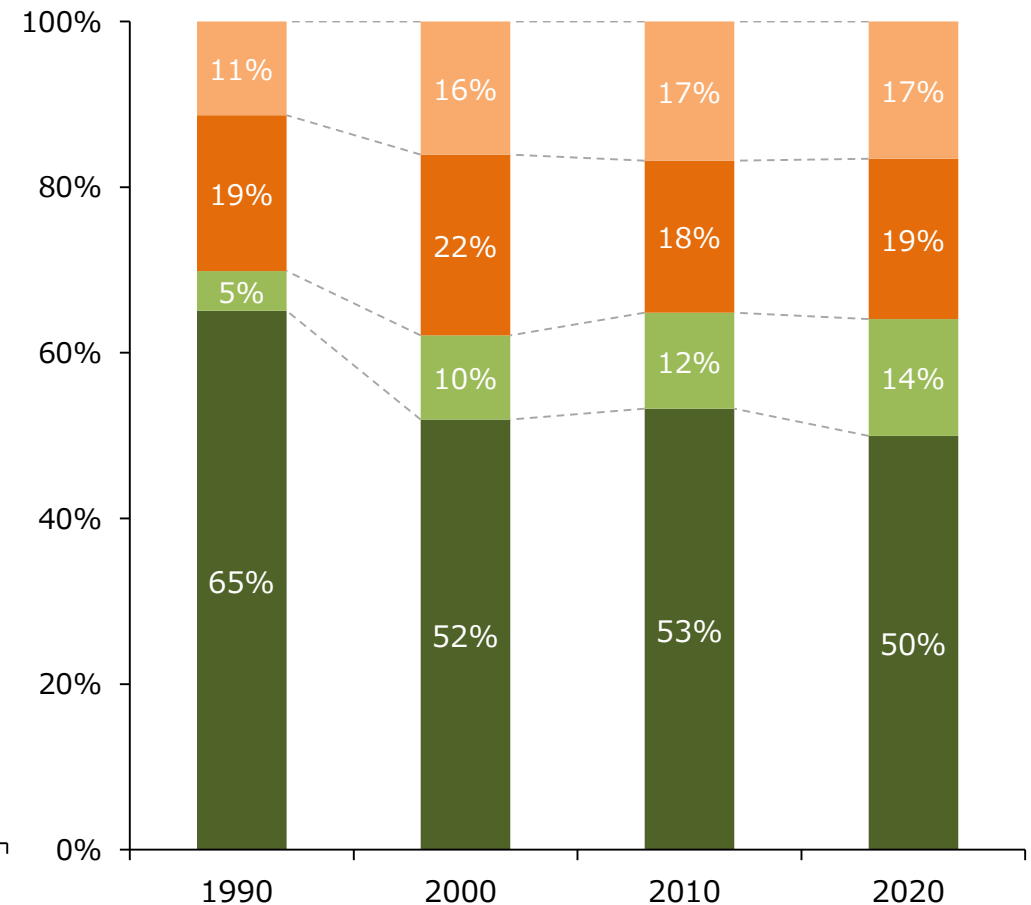
■ 自然科学（男性） ■ 自然科学（女性）
■ 人文・社会科学・その他（男性） ■ 人文・社会科学・その他（女性）

男女別・分野別入学者数（修士）

人文・社会科学・その他、自然科学の男女別入学者数の推移



全体を100%としたときの人文・社会科学・その他、自然科学の男女別入学者の割合の推移

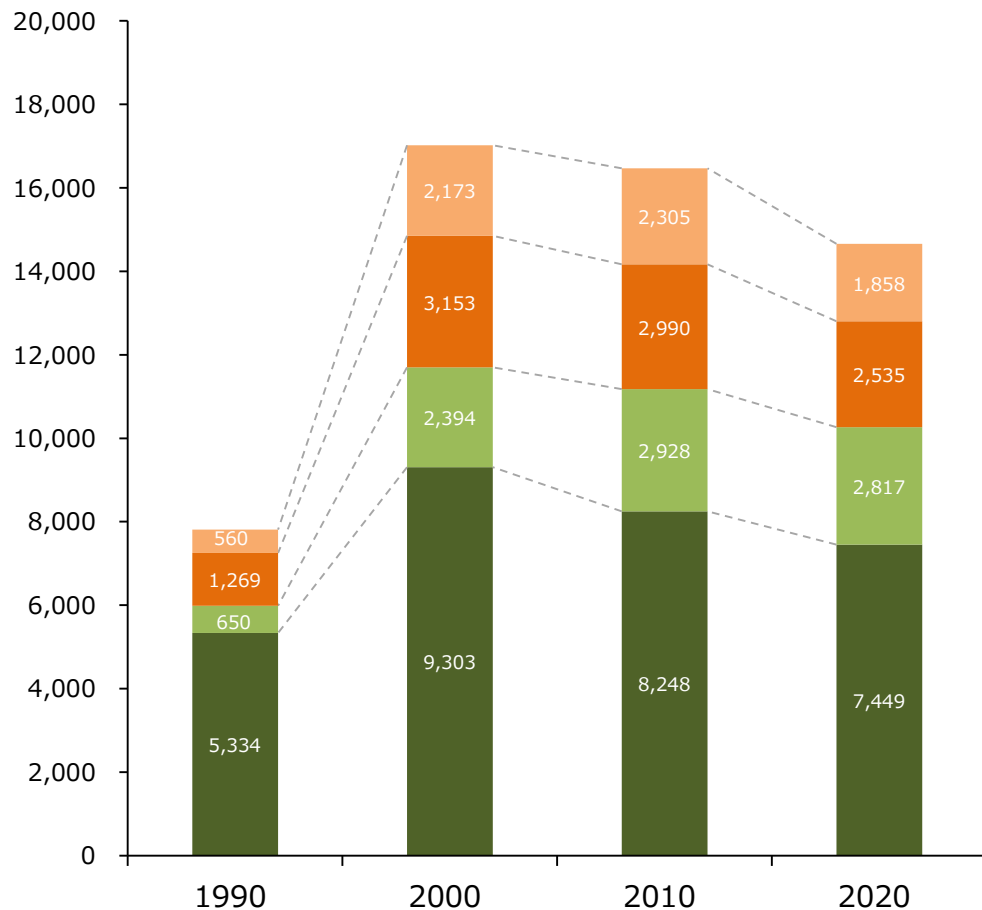


■ 自然科学（男性） ■ 自然科学（女性）
■ 人文・社会科学・その他（男性） ■ 人文・社会科学・その他（女性）

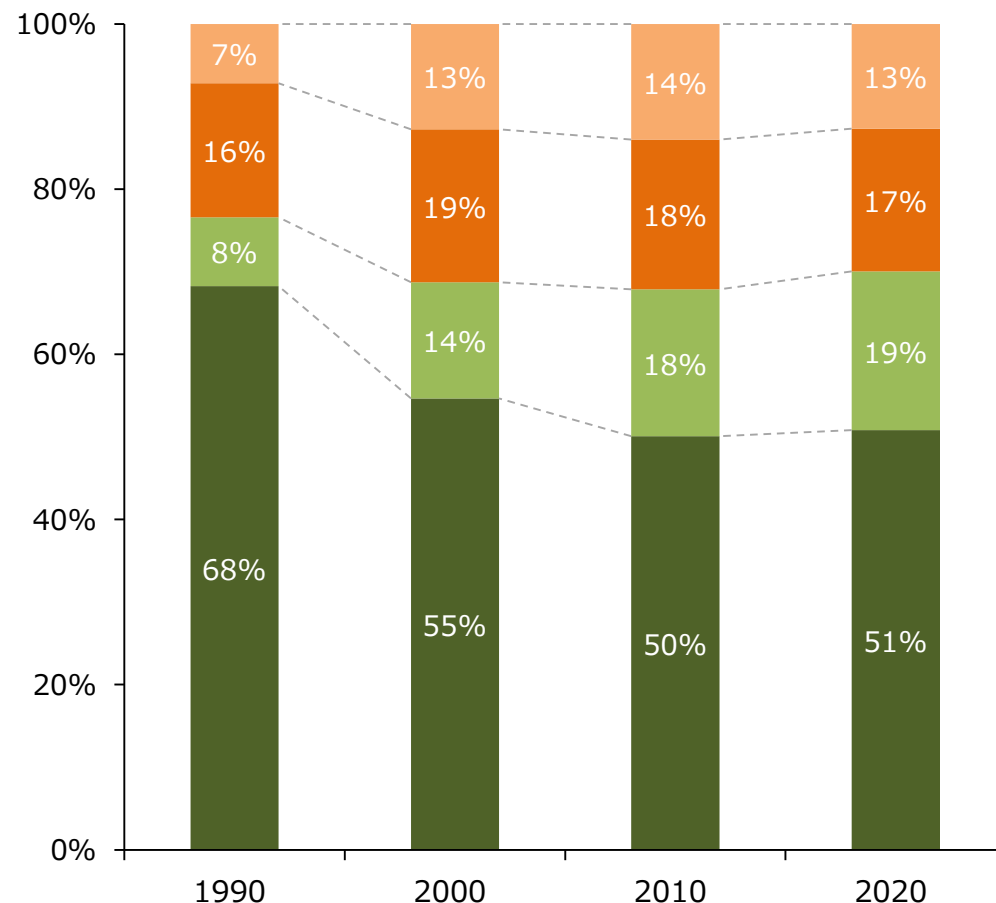
■ 自然科学（男性） ■ 自然科学（女性）
■ 人文・社会科学・その他（男性） ■ 人文・社会科学・その他（女性）

男女別・分野別入学者数（博士）

人文・社会科学・その他、自然科学の男女別入学者数の推移



全体を100%としたときの人文・社会科学・その他、自然科学の男女別入学者の割合の推移

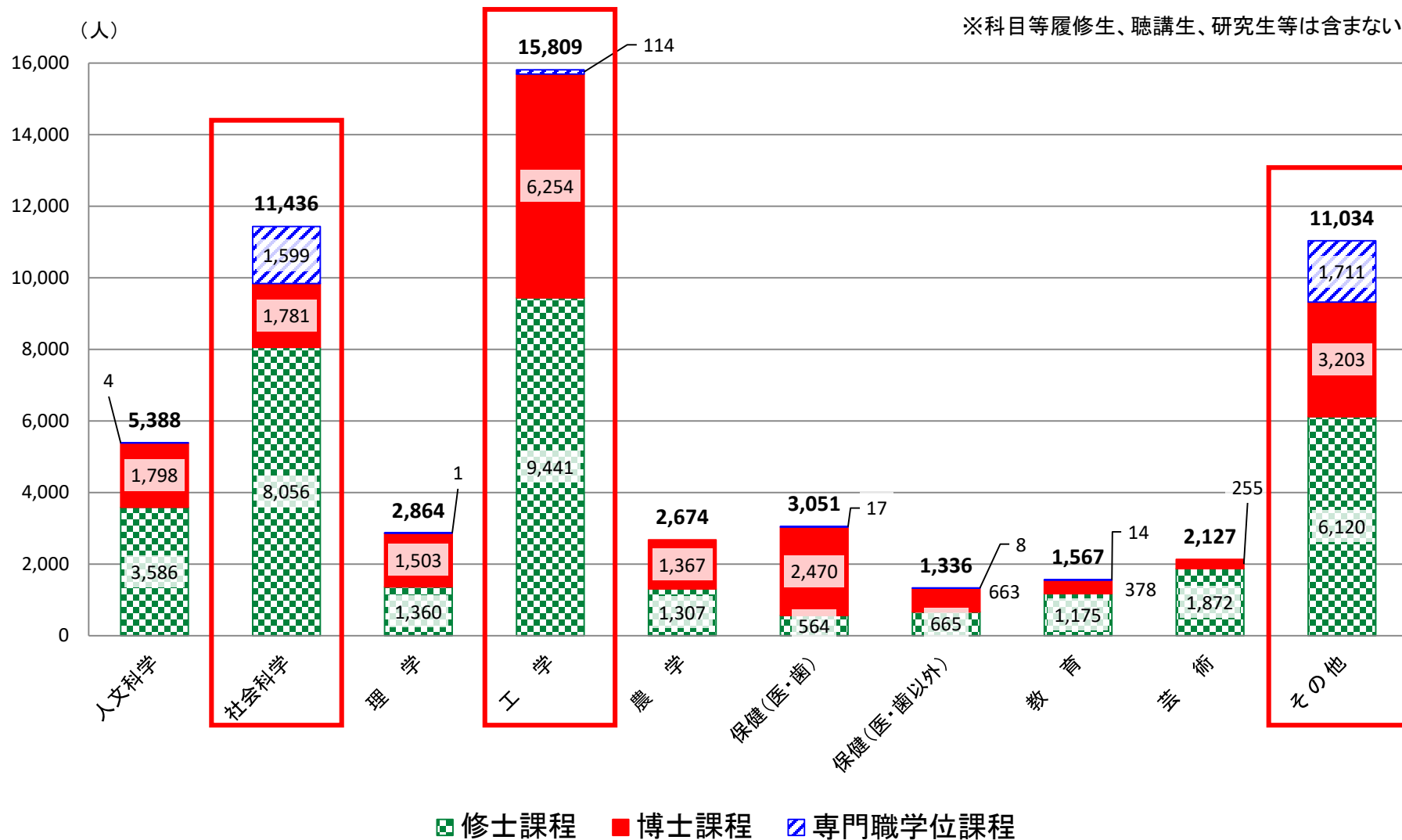


■ 自然科学（男性） ■ 自然科学（女性）
■ 人文・社会科学・その他（男性） ■ 人文・社会科学・その他（女性）

■ 自然科学（男性） ■ 自然科学（女性）
■ 人文・社会科学・その他（男性） ■ 人文・社会科学・その他（女性）

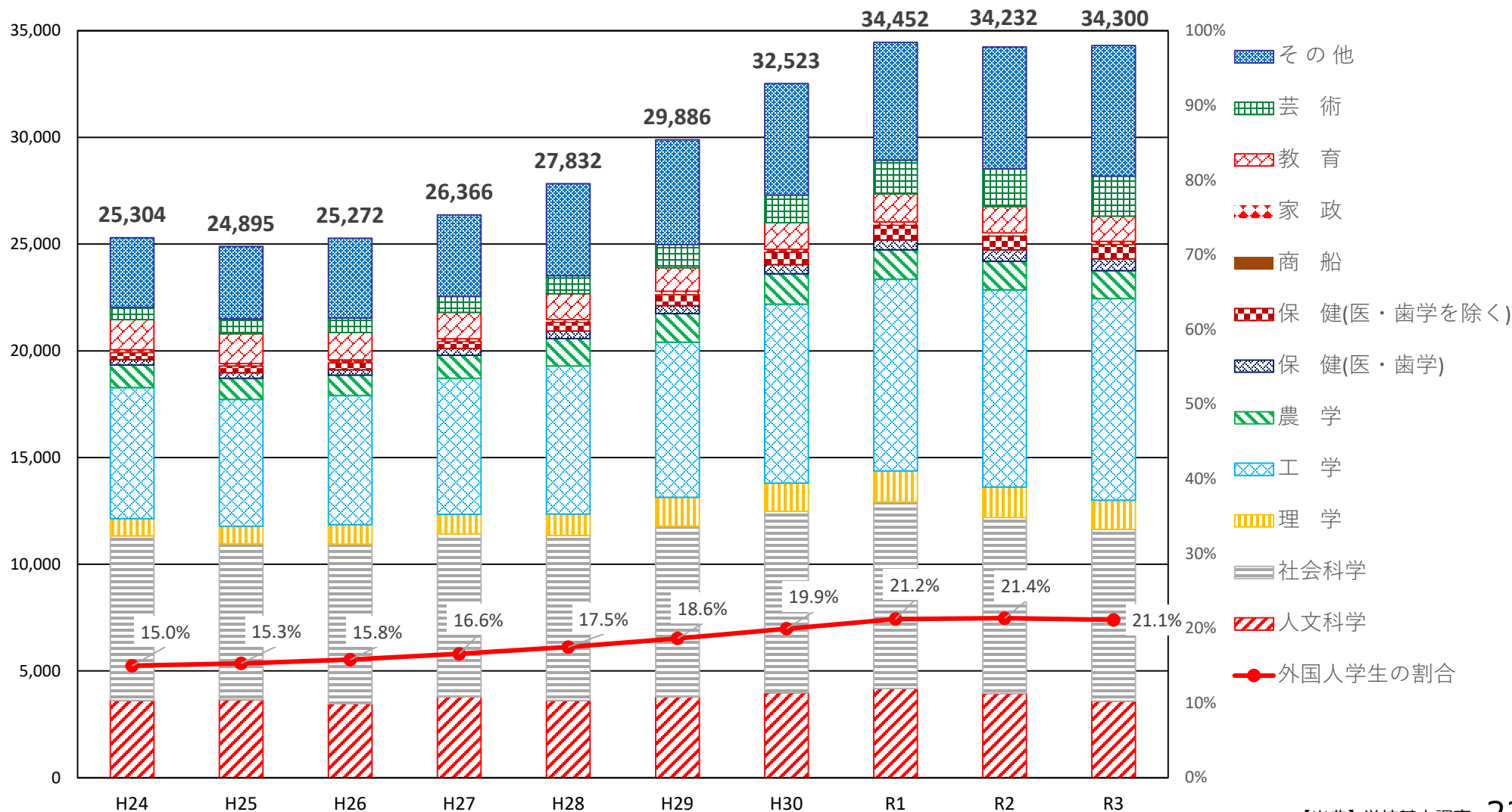
大学院への専攻分野別の外国人学生の受入れ状況

- 大学院への外国人学生の受入れは、「工学」、「社会科学」、「その他」の分野で多くなっている。



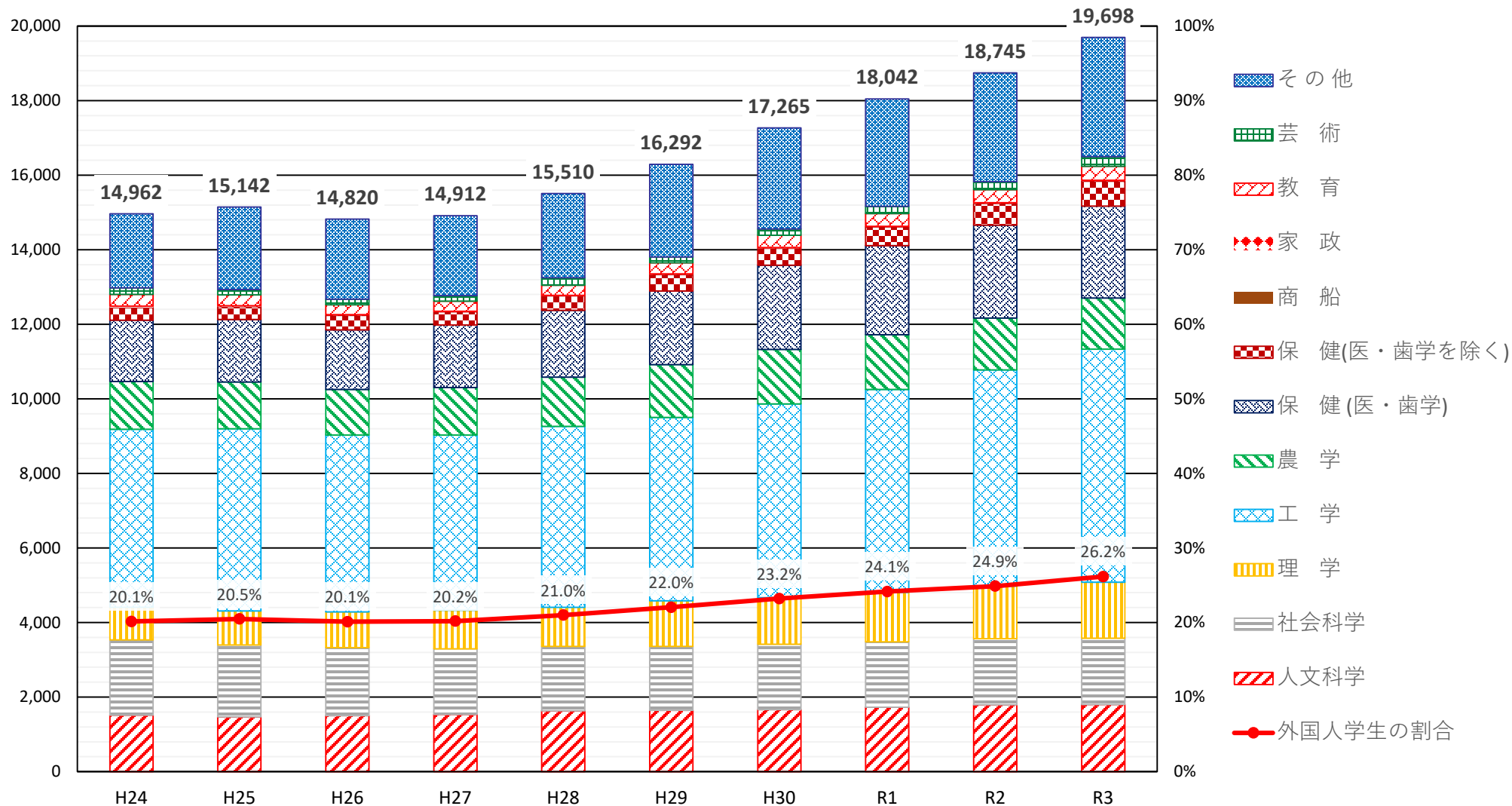
修士課程に在籍する外国人学生数（分野別推移）

- 近年、修士課程における外国人学生数及び外国人学生の割合は増加傾向にあり、令和2年の外国人学生数は平成24年の約1.4倍である。
- 分野では「社会科学」と「工学」の外国人学生数が多く、全体の約5割を占める。



博士課程に在籍する外国人学生数（分野別推移）

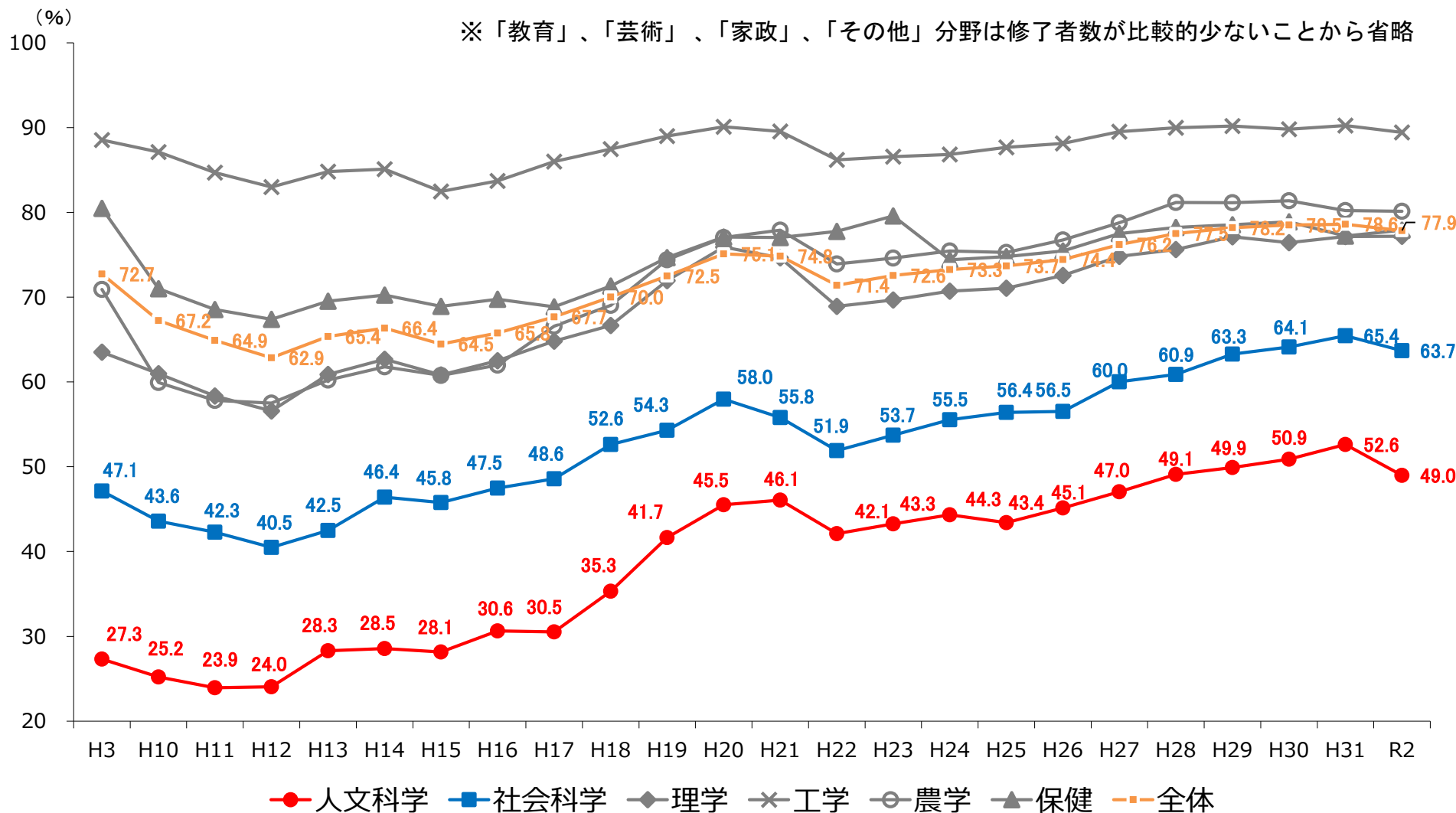
- 近年、博士課程における外国人学生数及び外国人学生の割合は増加傾向にある。
- 分野では「工学」の外国人学生数が多く、全体の約3割を占める。



2. キャリアパス

修士課程修了者の就職率の推移（分野別）

- 人文科学、社会科学分野の修士課程修了者の就職率は、他の分野に比べて低い傾向が続いている。近年は緩やかな上昇傾向が見られていたが、R2年度は下落した。

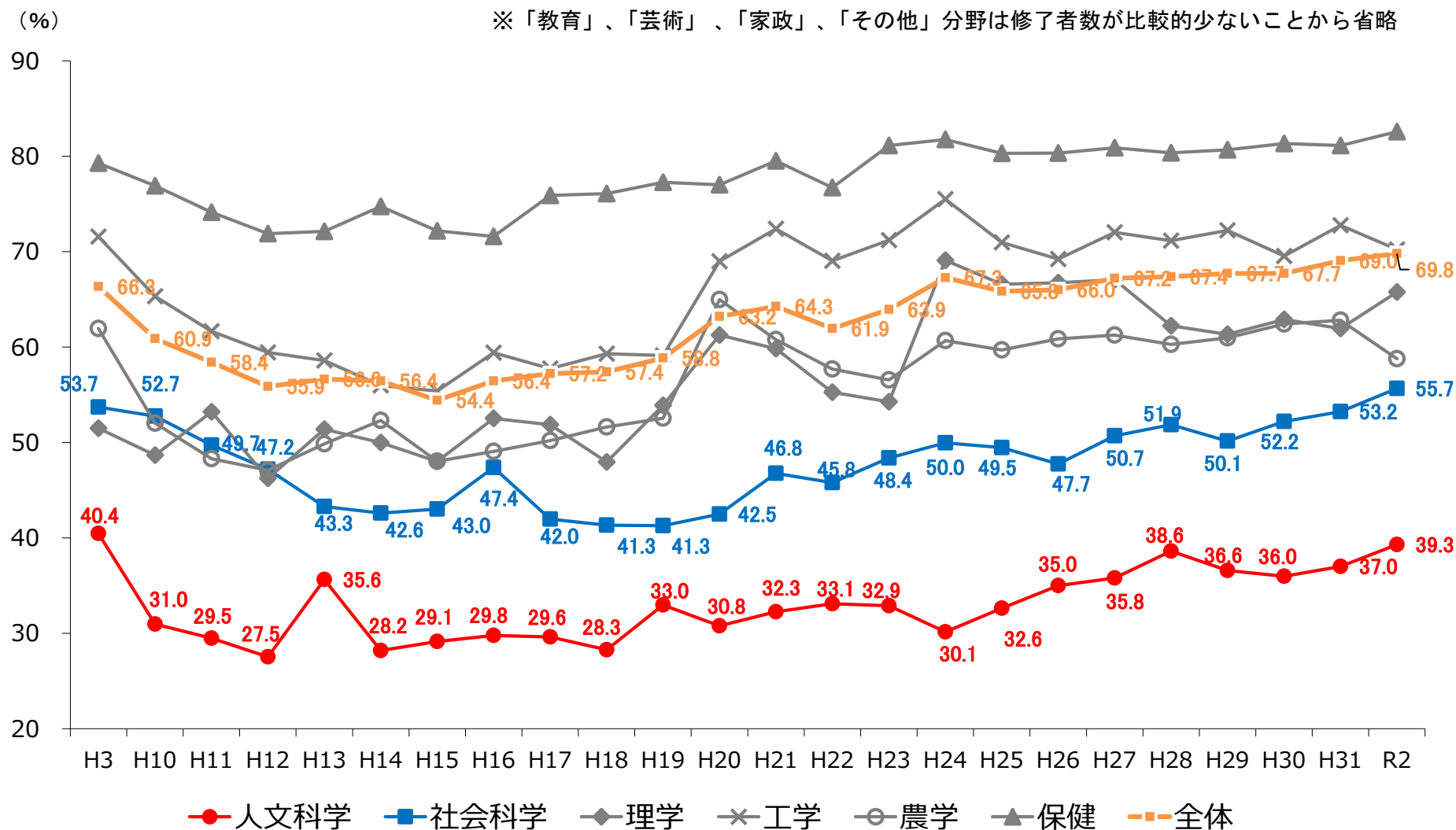


※各年度は修了年度

出典：学校基本調査

博士課程修了者の就職率の推移（分野別）

- 人文科学、社会科学分野の博士課程修了者の就職率は、他の分野に比べて低い傾向が続いている。



※各年度は修了年度

出典：学校基本調査

人文科学系大学院生のキャリア形成状況

大学等教員等以外の就職者等

大学教員、高専教員、短大教員を除く就職者数

博士 315
(修了者の33.3%)

※有期雇用労働者、
臨時労働者等を含む

修士 1,955
(修了者の49.8%)

学士 66,850
(修了者の80.5%)

博士課程卒業者 945 (うち満期退学者472)

- ・進学者 10
(うち2名は就職者にも含む)
- ・留学生等 8
- ・その他 318
(うち進学準備中14,就職準備中80)
- ・不詳・死亡の者 144

進学者 675
(うち15名は就職者にも含む)
(進学率17.2%)

海外大学 77

- ・留学生等 45
- ・その他 1,126
(うち進学準備中67,就職準備中500)
- ・不詳・死亡の者 110

修士課程卒業者 3,927

進学者 3,553
(うち4名は就職者にも含む)
(進学率4.3%)

海外大学 825

- ・留学生等 1,133
- ・その他 10,698
- ・不詳・死亡の者 793

学士課程卒業者 83,041

大学教員等

博士
大学教員 147
(修了者の15.6%)
高専教員 1
短大教員 4

修士
大学教員 24
(修了者の0.61%)
高専教員 4
短大教員 3

学士
大学教員 5
高専教員 12
短大教員 1

(注) 社会人学生の入学者数は記載されていない。満期退学者も便宜的に卒業者と見なしている。

【出典】令和3年度学校基本調査より作成

社会科学系大学院生のキャリア形成状況

大学等教員等以外の就職者等

大学教員、高専教員、短大教員を除く就職者数

博士 340
(修了者の35.5%)

※有期雇用労働者、
臨時労働者等を含む

修士 4,158
(修了者の59.7%)

学士 162,438
(修了者の84.2%)

博士課程卒業者 958 (うち満期退学者379)

- ・進学者 9
(うち1名は就職者にも含む)
- ・留学者等 3
- ・その他 264
(うち進学準備中4,就職準備中94)
- ・不詳・死亡の者 132

進学者 562
(うち41名は就職者にも含む)
(進学率8.1%)

海外大学 80

- ・留学者等 42
- ・その他 2,083
(うち進学準備中85,就職準備中984)
- ・不詳・死亡の者 142

修士課程卒業者 6,967

進学者 4,761
(うち8名は就職者にも含む)
(進学率2.5%)

海外大学 2,183

- ・留学者等 1,826
- ・その他 21,718
- ・不詳・死亡の者 2,083

学士課程卒業者 192,826

大学教員等

博士
大学教員 205
(修了者の21.4%)
高専教員 3
短期教員 3

修士
大学教員 20
(修了者の0.29%)
高専教員 0
短大教員 1

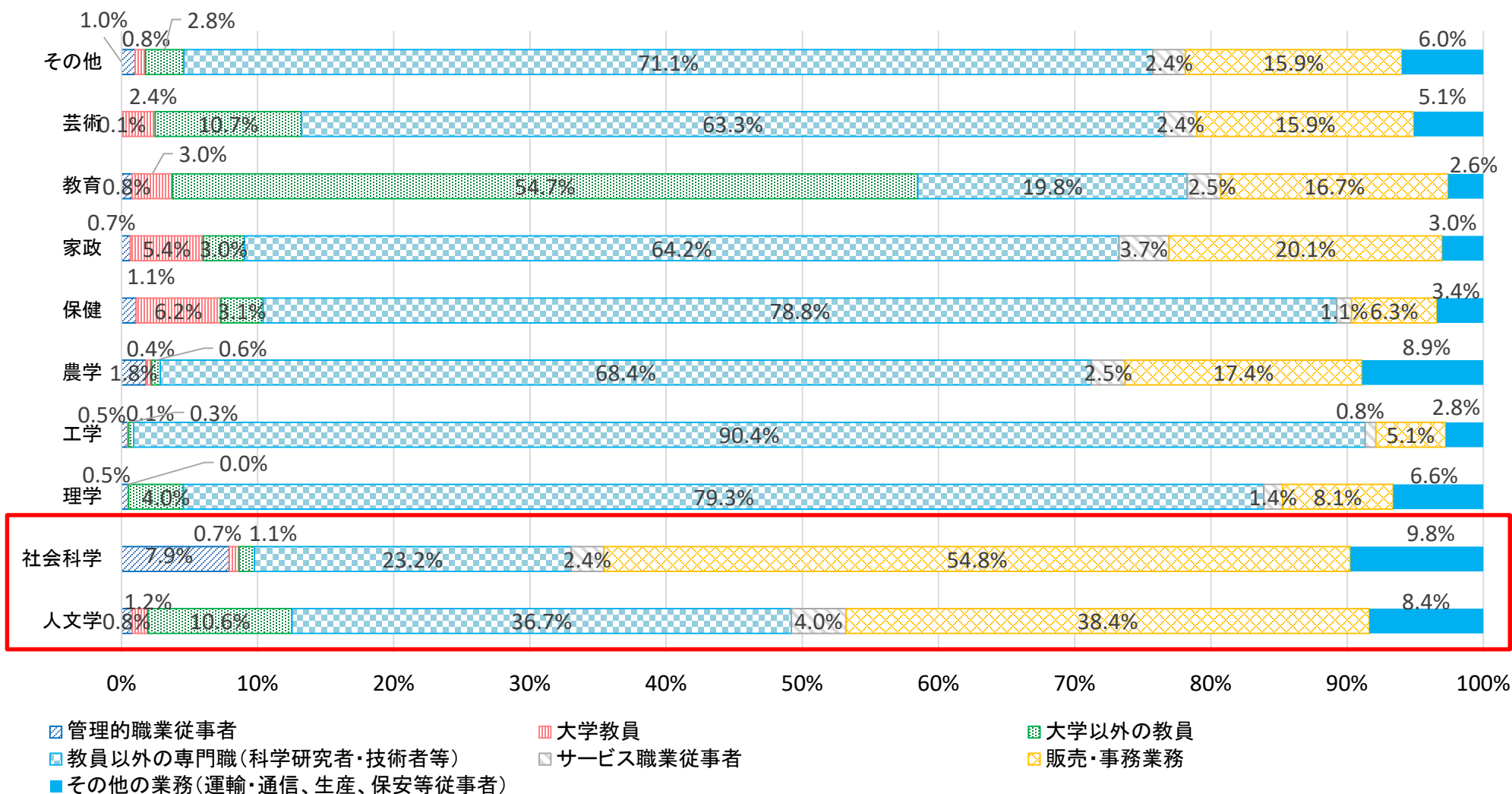
学士
大学教員 3
高専教員 4
短大教員 1

(注) 社会人学生の入学者数は記載されていない。満期退学者も便宜的に卒業者と見なしている。

【出典】令和3年度学校基本調査より作成

修士課程修了後の就職先（分野別・職業別）

- 理工農・保健分野においては、修士課程修了後、技術者等として専門的職業に従事する者の割合が高く、人社系分野においては販売・事務業務に従事する者の割合が高い。

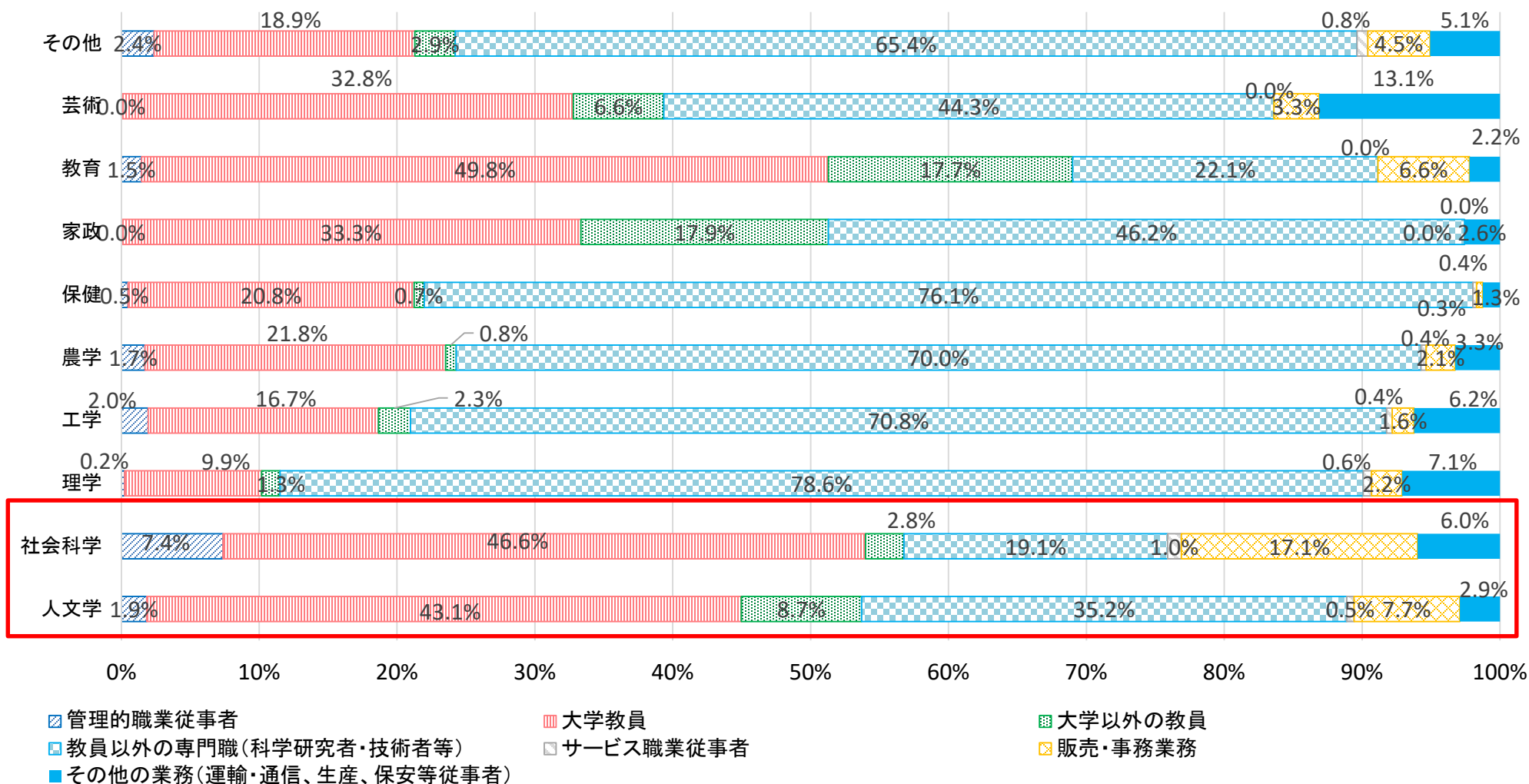


※ 所定の単位を取得し、学位を取得せず退学した者（いわゆる満期退学者）の数を含む

出典：学校基本調査

博士課程修了後の就職先（分野別・職業別）

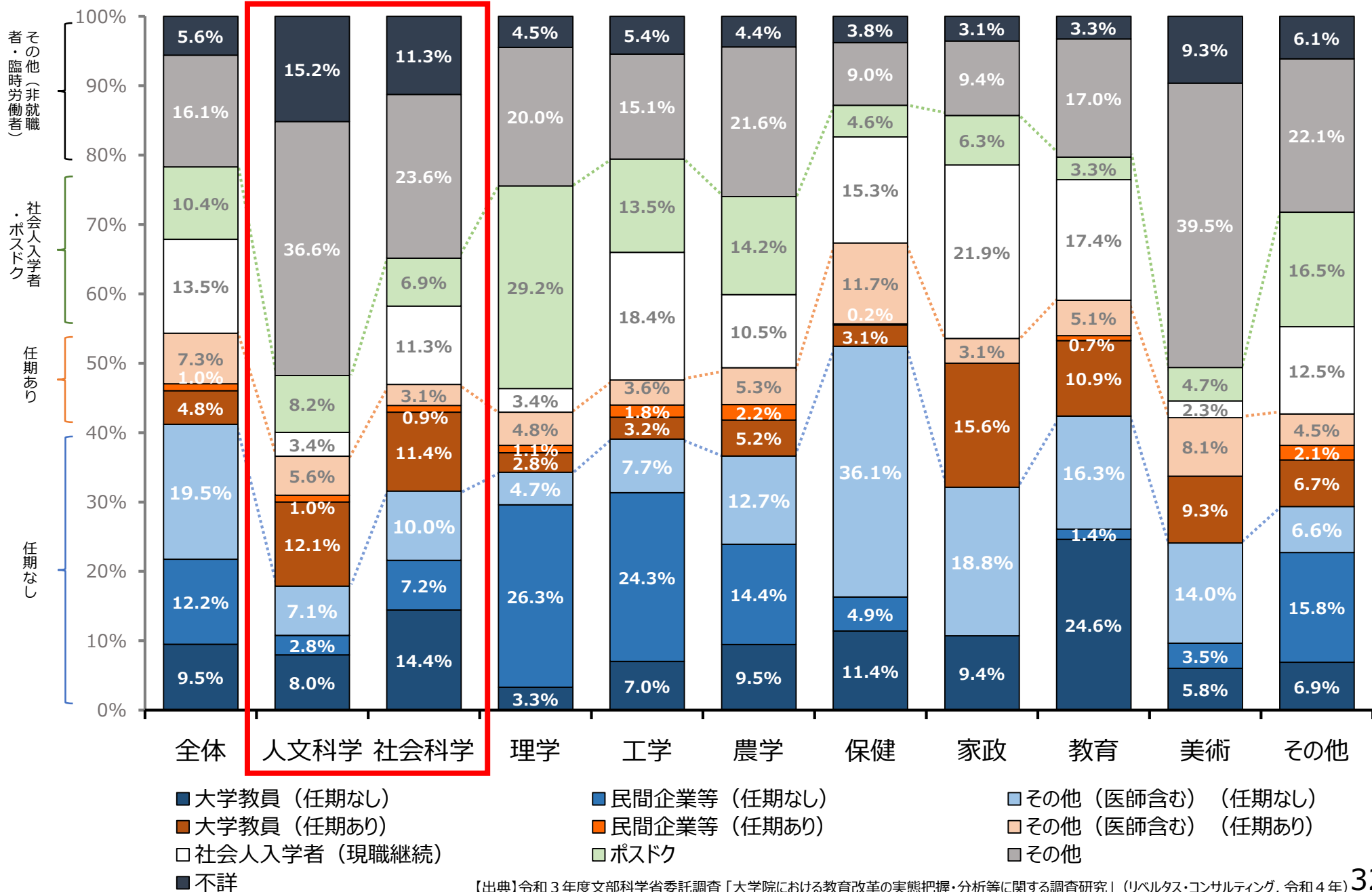
- 理工農・保健分野においては、博士課程修了後、大学教員以外の専門的職業に従事する者の割合が高く、人社系分野においては大学以外も含めて教員になる者の割合が高い。



※ 所定の単位を取得し、学位を取得せず退学した者（いわゆる満期退学者）の数を含む

出典：学校基本調査

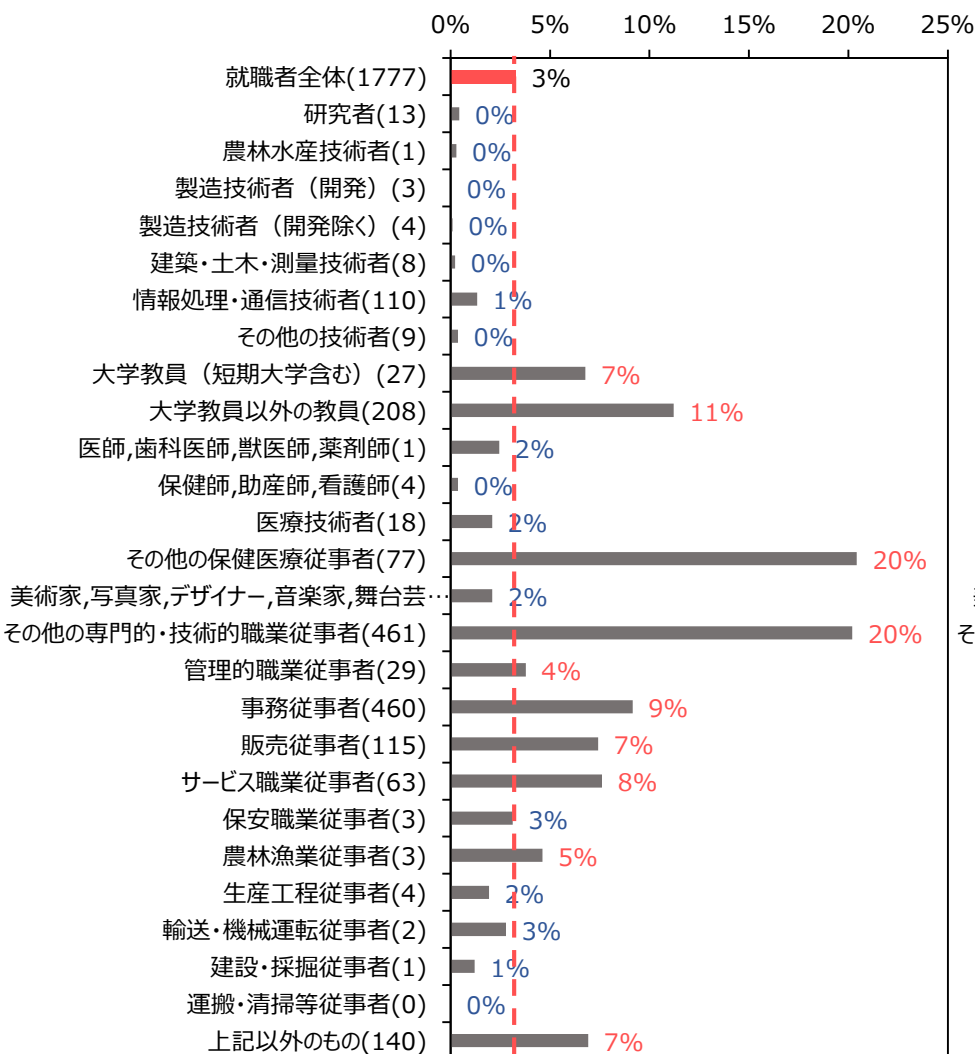
博士後期課程修了後の進路



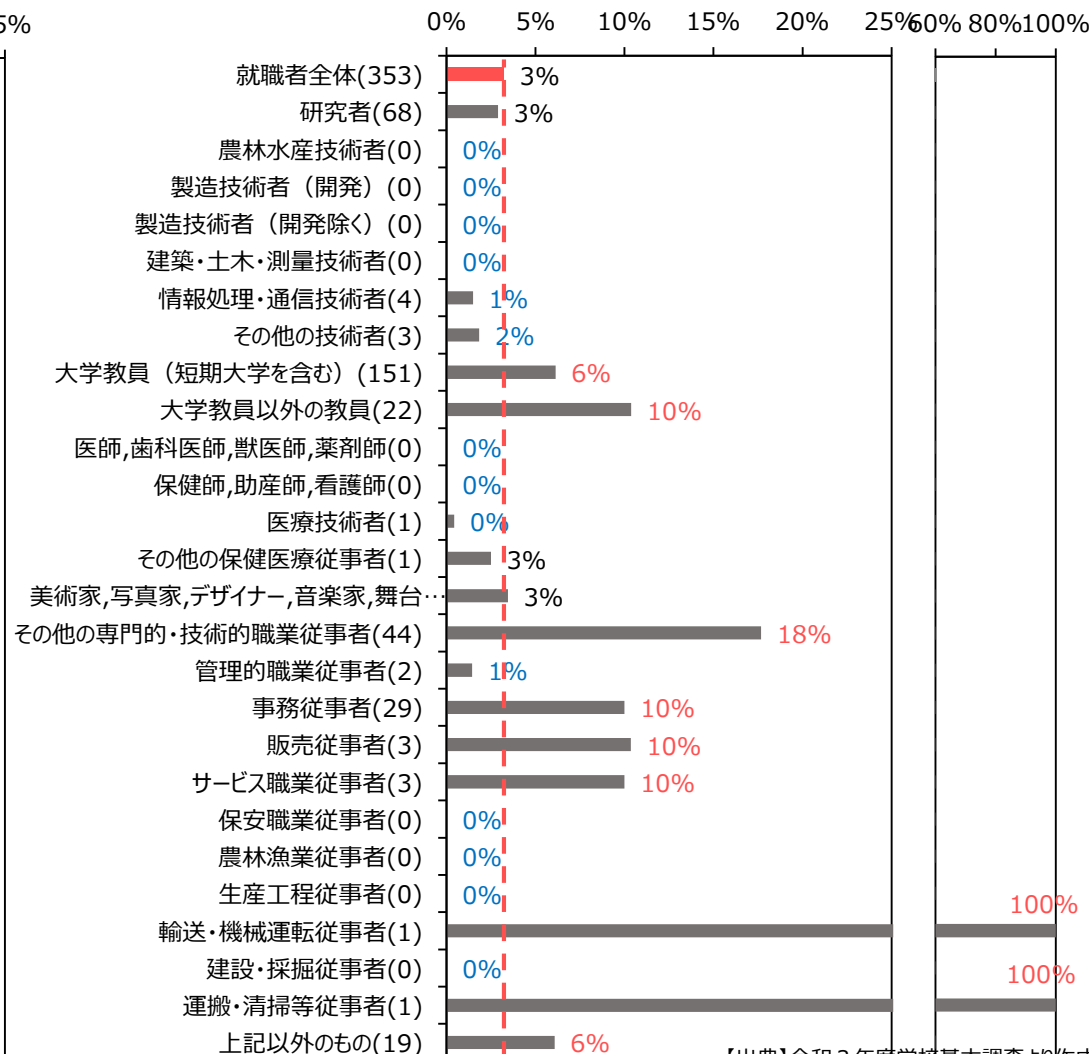
就職先・課程ごとの人文科学系の割合（令和3年度）

全分野の修了者に占める人文科学系修了者の割合と、各職業に就職した全分野の修了者に占める人文科学系修了者の割合を比較。分野相対的に人文科学系修了者の就職者数が多い職業、少ない職業を可視化。

職業別 全分野の**修士課程**修了就職者に占める**人文科学系**の割合（カッコ内は人数）



職業別 全分野の**博士課程**修了就職者に占める**人文科学系**の割合（カッコ内は人数）



【出典】令和3年度学校基本調査より作成

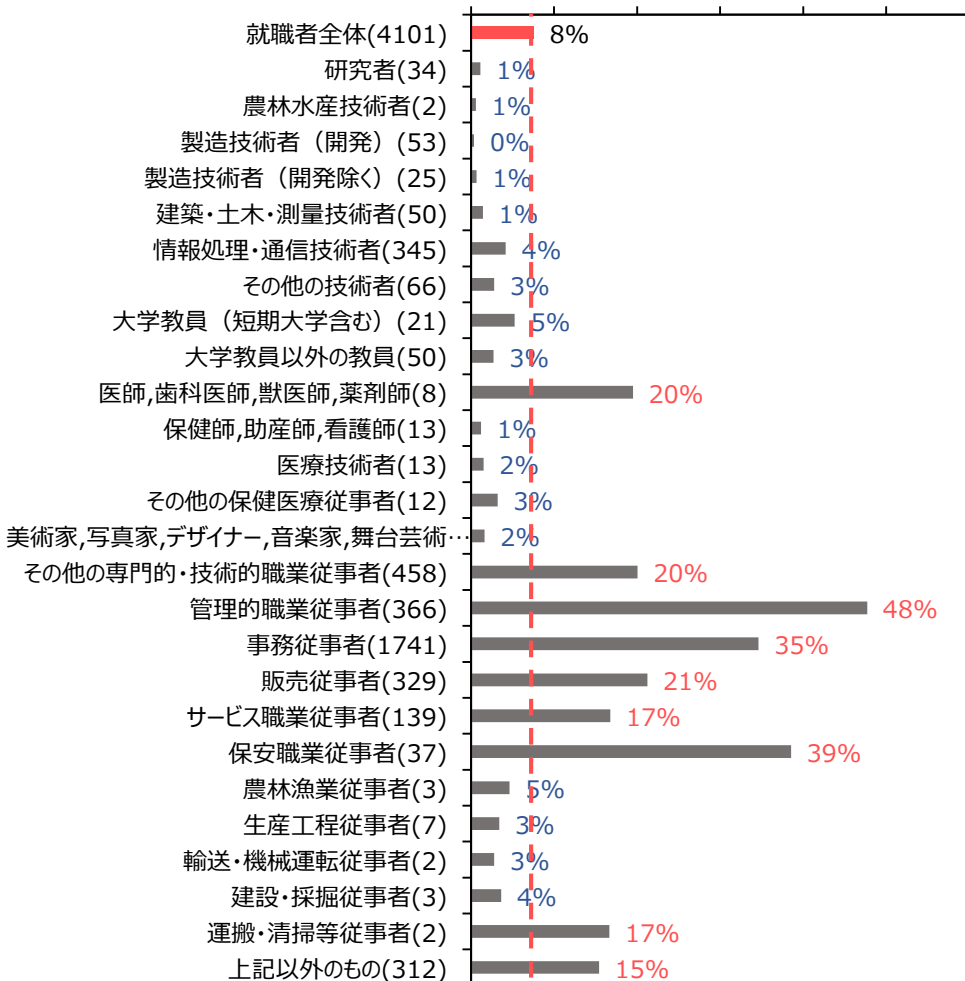
- 人文科学系の修士卒就職者は、平均と比べてその他の保健医療従事者や、その他の専門的・技術的職業従事者、大学以外の教員、事務従事者などに多い。
- 博士卒就職者では、平均と比べてその他の専門的・技術的職業従事者や事務従事者、販売従事者、サービス職業従事者、大学以外の教員などに多い。
- 大学教員に就職する割合は平均と比べて修士、博士ともにやや高い。

就職先・課程ごとの社会科学系の割合（令和3年度）

全分野の修了者に占める社会科学系修了者の割合と、各職業に就職した全分野の修了者に占める社会科学系修了者の割合を比較。分野相対的に社会科学系修了者の就職者数が多い職業、少ない職業を可視化。

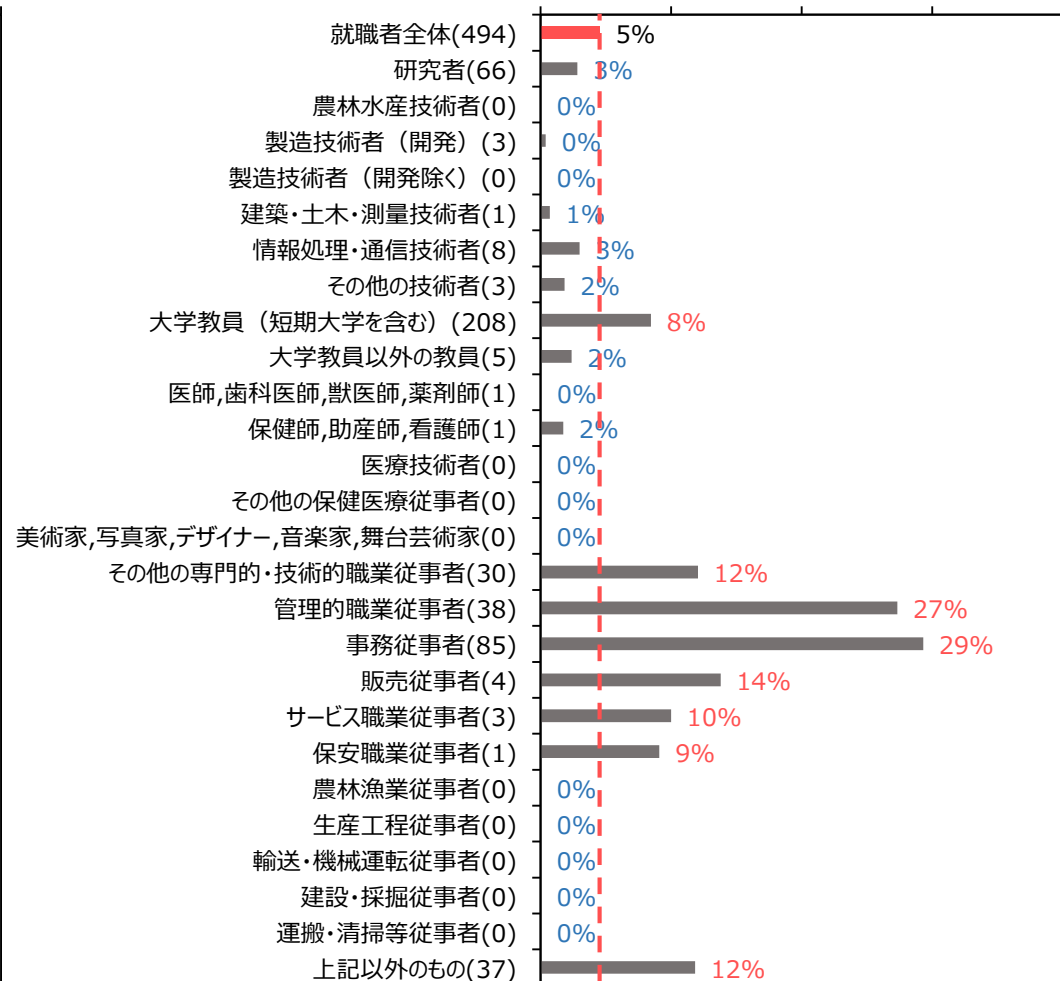
職業別 全分野の修士課程修了就職者に占める社会科学系の割合（カッコ内は人数）

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60%



職業別 全分野の博士課程修了就職者に占める社会科学系の割合（カッコ内は人数）

0% 10% 20% 30% 40%



【出典】令和3年度学校基本調査より作成

- 社会科学系の修士卒就職者は、平均と比べて管理的職業従事者や保安職業従事者、事務従事者、その他の専門的・技術的職業従事者などに多い。
- 博士卒就職者では、平均と比べて事務従事者や管理的職業従事者、販売従事者やその他の専門的・技術的職業従事者などに多い。
- 大学教員に就職する割合は平均と比べて修士では低く、博士ではやや高い。

研究者：

公的研究機関、大学附属研究所又は企業の研究所・試験所・研究室などの試験・研究施設において、自然科学、人文・社会科学の分野の基礎的又は応用的な学問上・技術上の問題を解明するため、新たな理論・学説の発見又は技術上の革新を目標とする専門的・科学的な仕事に従事するもの。
※研究所・試験所・研究室などの研究施設において、専ら試験・研究に関連する技能的な仕事に従事するものは除く。大学教授、大学附属研究所教授は教員に含む。

大学教員：大学学長、大学副学長、大学教授、大学准教授、大学講師、大学助教、学部長、大学院教授、大学附属研究所教授、短期大学教授、医師（大学教授）、医科大学教授、歯科大学教授、獣医科大学教授等。

大学教員以外の教員：

幼稚園・小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校・高等専門学校・専修学校・各種学校・その他の教育施設において、幼児・児童・生徒・学生の教育・養護に従事するもの。教育に従事する大学以外の学長・校長、部局長、少年院・少年鑑別所における教育従事者等。
※各種学校以外において、教養・レクリエーションなどのための指導に従事するものや個人教授所（塾）や個人家庭において学習指導に従事するもの、児童福祉施設において児童の保育・生活指導などに従事するものは含まない。

その他の保健医療従事者：

専門的・技術的な医療・保健衛生の仕事に従事するもののうち、医師、歯科医師、獣医師、薬剤師、保健師、助産師、看護師、医療技術者以外のもの。栄養士、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師、医療監視員、薬事監視員等。

その他の専門的・技術的職業従事者：

裁判官、司法書士、司法修習生、行政書士、公認会計士、税理士、宗教家、小説家、作家、著述家、記者、アナウンサー、編集者、社会福祉事業専門員、職業スポーツ家、個人教師（塾講師）、通訳、図書館司書、学芸員、職業・教育カウンセラー等。

管理的職業従事者：

事業経営方針の決定・経営方針に基づく執行計画の樹立・作業の監督・統制など、経営体の全般又は課（課相当を含む）以上の内部組織の経営・管理に従事するもの。公務員、議員、法人・団体役員、法人・団体管理職員等。

サービス職業従事者：

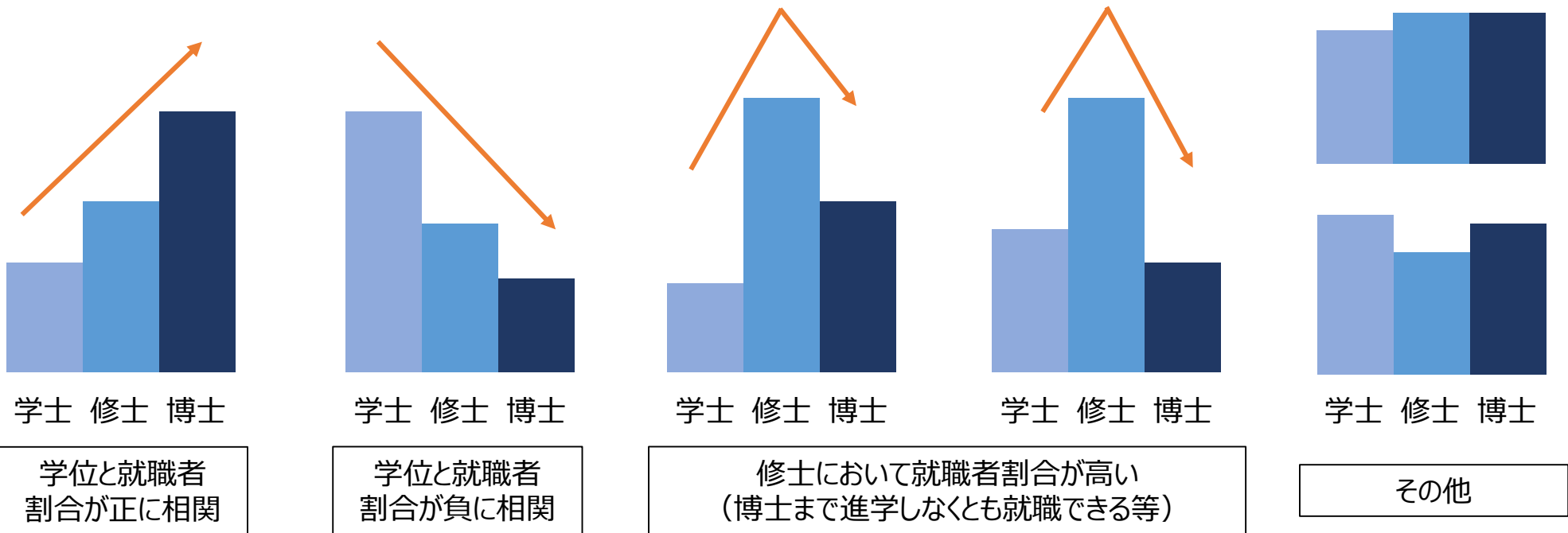
個人の家庭における家事サービス、介護・身の回り用務・調理・接客・娯楽など個人に対するサービス、及び他に分類されないサービスの仕事に従事するもの。介護職員、歯科助手、理容師、飲食物調理従事者、接客職業従事者等。

保安職業従事者：

国家の防衛、社会・個人・財産の保護、法と秩序の維持などの仕事に従事するものをいう。自衛官、防衛大学校・防衛医科大学校学生、警察官、海上保安官、看守、消防員等。

課程・分野ごとの就職先の割合

- 各分野・各課程ごとに、就職者の何パーセントがそれぞれの職業に就いているか、その割合を学士卒、修士卒、博士卒で比較。
- 以下はグラフの形状の分類と推察される進学に伴う就職動向の変化。



<留意事項>

- あくまでも傾向把握に向けた分析であり、精度や進学の優位性が必ずしも担保されたものではない
- 「就職者」の数であり、「進学」を選んだ者はカウントされていない